科目名	CSU （コミュニケーション・スキルアップ）	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	松井 かおり
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼ー	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		

教員の略歴	元雑誌＆広告編集者・ライター、現在は主に企業研修講師として活動。若者支援活動の経験も持つ。
授業の学習内容	この授業では、基礎コミュニケーションおよび、社会人として必要となるビジネスコミュニケーションで重要なマインドやスキルを身につけていきます。「クラスの仲間との関係つくり」から「実習先、社会人に向け必要な振る舞い」まで、いろいろなコミュニケーションのトレーニングをしていく授業です。 また、知識としての理解だけでなく、体験ワークを通して自ら考え、社会で実践できるレベルを目指していきます。
到達目標	・他者と自分自身の価値観の違いを理解し、お互いを尊重した人間関係を構築することができる。 ・自分自身の特徴を知り、様々な場面で自己表現ができる。 ・仕事のチームワークとはどんなものかを理解し、チームの目的や役割を意識してチームに参加できる。 ・社会で人間関係を円滑に進めるための様々なコツを理解し、体験を通して身につけることができる。
評価方法と基準	【評価方法】 1）ワークブック提出・授業態度＝50%　2）定期試験＝50% 【評価基準】 1）定期試験は、ワークブックの記入・提出と筆記または実技試験での評価とする。 2）授業態度は、参加姿勢や定期提出物の有無、内容を含む。

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義、演習	【オリエンテーション】自己スキルチェックで自己分析、課題発見ができる ※アイスブレーキング	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
2	4月27日	講義、演習	【価値観の理解】多様な価値観に触れ、共通点・相違点に気づくことができる（教科書第1.2章）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
3	5月11日	講義、演習	【価値観の理解】それぞれの持つ価値観について、仲間と共有できる（教科書　第2章Ⅱ）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
4	5月18日	講義、演習	【自己理解力・他者理解力】人から見た自分のイメージを知り、仲間のイメージを考える（教科書第3章）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
5	5月25日	講義、演習	【チームワークスキル】グループの存在目的と役割を理解し、主体的に参加できる（教科書　第2章Ⅱ）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
6	6月1日	実習	【コミュニケーションの体験】実習を通して仲間と協力し、チームワークを発揮できる	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
7	6月15日	講義、演習	【コミュニケーション基礎】会話の成り立ちを理解し、基本スキルを習得できる（教科書第2章Ⅰ）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
8	6月22日	動画視聴	【検定講義①】CSU検定に向け、各章のポイントを理解できる（教科書第1.2章）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
9	6月29日	講義、演習	【コミュニケーション基礎】「伝える」「聴く」のポイントやコツを理解して実践できる（教科書第2章Ⅰ）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
10	7月6日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション】仕事で必要な伝え方・聴き方を理解できる	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
11	7月13日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション】適切な自己表現の方法理解し、を習得できる（教科書第3章Ⅰ）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
12	7月20日	講義、演習	【コミュニケーション基礎】温かい言葉かけの大切さを理解し、実践できる（教科書第3章Ⅰ）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
13	8月31日	講義、演習	【チームワークスキル】グループで課題解決に向けて協力できる（教科書　第2章Ⅱ）	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
14	9月7日	試験	筆記試験	
15	9月14日	講義、演習	【振り返り】前期試験結果と自己チェックを振返り、後期に向け目標を設定することができる	・後期目標設定
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 教科書　コミュニケーションスキルアップ検定

科目名	エキゾチックアニマル1	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高橋幸子
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	日本初のドッグシッター&イヌの託児施設を発案、開業　小動物全般の繁殖・卸し						
授業の学習内容	飼育展示、販売、接客に必要不可欠となる小動物の基本を学ぶ授業の前編です。 種を理解する事で、品種や繁殖、人工哺乳や介護をする為の知識を身に付けます。 飼育される全ての動物たちが、生涯ストレスなく健康で暮らし続けられるために、飼い主様とのパイプラインを目指して学習に励んで下さい。 授業は座学ですが、実際に動物に触れ合い、感覚も養いながら授業を進めます。 ※実際に生き物を使用する授業のため、内容に変更がある場合があります。						
到達目標	ウサギの品種を識別できるようになる。 スーパーの食材から草食動物の餌を選ぶ事ができる。 種の特性を理解し、ストレスフリーな扱い方の習得を目指す。						
評価方法と基準	提出物20%　小テスト20% 定期試験60% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	自己紹介　授業の説明と生き物を扱う上での注意事項	
2	4月26日	講義	動物の分類/ウサギ目	ウサギを扱っている施設を調べておく
3	5月10日	講義	穴ウサギの種類、種と品種について	ウサギの価格を調べておく
4	5月17日	講義	ウサギの品種	店舗で取り扱いの多い品種を調べておく
5	5月31日	講義	ウサギの体の構造と病気について	ウサギの展示ケースを観察しておく
6	6月7日	講義	ウサギの管理と食性について	
7	6月14日	講義	動物の分類/齧歯目	齧歯目にはどんな種がいるのか考えてみる
8	6月21日	講義	リス亜目/モモンガ属とムササビ属	ムササビを見に行ってみる
9	6月28日	講義	リス亜目/モモンガ属と有袋目	リスを販売している店舗を探す
10	7月5日	講義	リス科/シマリスとジリス	ジリスの展示ケースを観察しておく
11	7月12日	講義	ジリスとプレーリードッグの世界	飼育室のプレーリーを観察しておく
12	7月19日	講義・演習	採食と知育玩具	
13	8月30日	講義	前期のまとめ	
14	9月6日	試験	試験	
15	9月13日	講義	試験の解説と夏休みの課題について	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	エキゾチックアニマル1	年次	1	担当教員	富田京一
学科・コース	エコ・イノベーション科(4年制)昼一	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴					
授業の学習内容	水族館など主として海岸生物を取り扱う業界においても、生態系、生物多様性といった概念の普及に伴って、さまざまな動植物の展示や教育活動が行なわれるようになりました。かつては常に脇役に甘んじていた爬虫類や両生類に対する世間の関心や需要も非常に高まっています。水生生物や愛玩動物を取り扱う問屋、小売店においても、それは同様の傾向にあると考えられます。また、爬虫類・両生類は他の脊椎動物とも生物学上密接なつながりを持っており、たとえば魚類学を学ぶ際にそれを補完するものとして欠くべからざるものです。 時代のニーズに即した爬虫類・両生類に関する学問的な知識や飼育技術の習得は、今後ますます求められていくものと予想されるため、それに即応した教育を目指します。				
到達目標	爬虫類・両生類とはいかなる動物か、進化的な背景も含めて理解する。水族館・動物園でよく展示されていたり、一般に流通している種類についてひととおりの飼育がこなせるようになる。希少であったり、反対に外来生物として環境問題となっている、また国内外のネイチャーツアーなどで観察できる代表的な種類を識別できるようになる。およびまた、もし高校で生物を履修していない生徒でも、爬虫両生類関連の業界に就職した場合に困らないだけの基礎的な知識をつける。				
評価方法と基準	定期試験を基準としますが、出席・授業態度も重視します(定期試験80% 授業内での小テスト・レポート各10%)。				

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	エキゾチックアニマルの定義と特徴	授業の内容について復習(レポート)
2		講義	飼育の基本(ケージ・保温・床材等)	授業初め、前回の内容について議論
3		講義	爬虫両生類の定義と特徴	授業初め、前回の内容について議論
4		講義	校外実習(あきる野市横沢入を予定)	授業初め、前回の内容について議論
5		講義	カメ類総論と水生種の分類・生態・飼育	授業初め、前回の内容について議論
6		講義	陸生ガメとハコガメの分類・生態・飼育	授業初め、前回の内容について議論
7		講義	爬虫両生類の餌学(栄養素と飼育法)	授業初め、前回の内容について議論
8		講義	トカゲ類総論と地上生種の分類～飼育	授業初め、前回の内容について議論
9		講義	校外実習(厚木市七沢を予定)	授業初め、前回の内容について議論
10		講義	イグアナ等樹上生種の分類・生態・飼育	授業初め、前回の内容について議論
11		講義	カメレオン・ヤモリ類の分類・生態・飼育	授業初め、前回の内容について議論
12		講義	オオトカゲ類の分類・生態・飼育	授業初め、前回の内容について議論
13		講義	これまで習得した知識や技術の確認	授業初め、前回の内容について議論
14		試験		
15		振り返り	後期の学習内容に進むためのまとめ	後期に向けた予習(レポート)の指示
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 適宜プリント等を用意します。回によってスライドやビデオ等の画像や、生体・骨格標本・液浸標本も使用。
夏休みに向けてのレポート提出

科目名	フィールドテクニック1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	江口
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴							
授業の学習内容	野外活動を行う上で、「安心・安全」を第1に、装備の準備、機材の正しい扱い方や応用を学んでもらいます。						
到達目標	基本的な装備を準備できるようになる。 基本的な道具を正しく扱えるようになる。 その装備の説明を開設できるようになる。 野外活動において、安心・安全を前提としたスケジュール内でも起こりうる、不測の事態に対応できる。 また、不測の事態のリスクマネージメントを行うことができる。 自分を含めた同行者の命を守る為の知識技術を身に付ける。 最終試験において作品評価60点以上を取得し、単位の認定を受ける。						
評価方法と基準	作品評価：GPA（A100～90　B89～80　C79～70　D69～60　F59～0） 試験資格は学生便覧学則に沿うものとする。 出席率66.7%以上に試験受験後の単位認定を行う。レポートはルーブリック評価を行う。 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋・もしくは課題の再提示）の提出をもってDの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義	オリエンテーション　目的・目標の確認	授業目的・目標を明確にして、方法としての学習方法を理解する
2	5月26日	演習	道具の使いかた　基礎　レインウエア　①	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる防水と撥水の違いを学んでおく。
3	6月2日	演習	道具の使いかた　基礎　レインウエア　②	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。標高・風速の体感温度を学んでおく。
4	6月9日	実習	道具の使いかた　基礎　靴下と靴	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。低体温症と凍傷について学んでおく。
5	6月16日	実習	道具の使いかた　基礎　ザックの選び方	カモシカスポーツで実際に商品を見ながら、自分にあった物を選ぶことが出来る。ザックメーカーを下調べしておく。
6	6月23日	演習	道具の使いかた　基礎　装備の中身とパッキング・背負い方	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。2泊～3泊に必要な道具を調べておく。
7	6月30日	演習	道具の使いかた　基礎　バーナーの種類と注意	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。灯油、ガソリン、アルコールの違いを知っておく。
8	7月7日	演習	道具の使いかた　応用　火器演習・ロープワーク①　本結びと輪	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。バラコードを使い本結びの練習。
9	7月14日	演習	道具の使いかた　応用　火器演習・ロープワーク②　もやい結びと応用	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。前回の復習ともやい結びの練習。
10	8月18日	演習	道具の使いかた　応用　火器演習　ロープワーク③　他人もやいとカムイックノット	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。前回の復習と目を閉じて片手でもやい結びを練習。
11	8月25日	演習	道具の使いかた　応用　ロープワーク③　電車結びと使い方	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。前回の復習と電車結びの練習
12	9月1日	演習	道具の使いかた　応用　ロープワーク④　自在結びと自在の使い方	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。前回の復習と、自在結びの練習。
13	9月8日	演習	道具の使いかた　応用　ロープワーク⑤　漁師結びとユニノット	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。前回の復習と漁師結びの練習。
14	9月15日	演習	道具の使いかた　応用　ロープワーク⑥　鎧結びと、束ね方	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。前回の復習と鎧結び（バタフライノット）の練習
15	9月29日	演習	道具の使いかた　　テント張り実演　　臨海公園にて	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。前期の復習と、道具の準備（パッキング）
準備学習　時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促します。	

【使用教科書・教材・参考書】 必要に応じてプリントの配布を行います。予習としてYoutube動画の視聴を適宜勧めます。

※材料は学校で準備をします。※自主的に作成したい作品の材料は各自準備してください。※クラフトルームの使用は必ず申請し、許可を得てください。

科目名	化石プレパレーションⅠ	必修選択	選択	年次		担当教員	佐藤
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴							
授業の学習内容	プレパレーション（準備）とは広い意味がありますが、この授業では化石・標本を展示するにあたり必要な技術を身に付けます。 また、標本を美しく、より特徴を理解してもらう為にも、長期にわたり劣化・破損を最小限にとどめることが必要です。 前期の授業では、正しい工具の使い方を中心に実技を中心に学習します。						
到達目標	基本的な工具の種類を知る。 基本的な工具を、安全に使用できるようになる。 標本を美しく展示する為の、木工加工ができる。 最終試験において作品評価60点以上を取得し、単位の認定を受ける。						
評価方法と基準	作品評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 試験資格は学生便覧学則に沿うものとする。 出席率66.7%以上に試験受験後の単位認定を行う。 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 作品評価。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	6月5日	講義	半期の授業スケジュールと学ぶ内容を理解する	木工の基本となる木材の種類の自主学習
2		演習	クラフトルームの使い方と工具の使い方　実演見学	
3	6月12日	演習	クラフトルームの使い方と工具の使い方　①	使用する工具の名前と使用方法を自主学習
4		演習	クラフトルームの使い方と工具の使い方　②	
5	6月19日	演習	木材の加工　　設計 化石用展示ケースに合わせた台座の作成と運搬用木箱	木材の加工動画と制作する作品のイメージを明確にする
6	6月26日	演習	木材の加工　　切り出し　① 化石用展示ケースに合わせた台座の作成と運搬用木箱	自主的に作成したい作品の設計
7	7月3日	演習	木材の加工　　切り出し　② 化石用展示ケースに合わせた台座の作成と運搬用木箱	
8	7月10日	演習	木材の加工　　組み立て　① 化石用展示ケースに合わせた台座の作成と運搬用木箱	
9	7月17日	演習	木材の加工　　組み立て　② 化石用展示ケースに合わせた台座の作成と運搬用木箱	自主的に作品を作る（素材の設定・工具の設定と使用・用途と実用の検証）
10	8月21日	演習	木材の加工　　組み立て　③ 化石用展示ケースに合わせた台座の作成と運搬用木箱	
11	8月28日	演習	木材の加工　塗装　①　　下塗り 化石用展示ケースに合わせた台座の作成と運搬用木箱	
12	9月4日	演習	木材の加工　塗装　③　　上塗り 化石用展示ケースに合わせた台座の作成と運搬用木箱	
13	9月11日	演習	木材の加工　仕上げ　①　　細部の加工 化石用展示ケースに合わせた台座の作成と運搬用木箱	
14	9月18日	演習	木材の加工　仕上げ　②　　評価 化石用展示ケースに合わせた台座の作成と運搬用木箱	
15	9月25日	演習	振り返り	
準備学習　時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促します。	

【使用教科書・教材・参考書】 必要に応じてプリントの配布を行います。予習としてYoutube動画の視聴を適宜勧めます。

※材料は学校で準備をします。※自主的に作成したい作品の材料は各自準備してください。※クラフトルームの使用は必ず申請し、許可を得てください。

科目名	海洋保全1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	沼口麻子
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	東海大学海洋学部卒業後、同大学海洋学研究科水産学専攻修士課程修了。現在、世界で唯一のシャークジャーナリスト として活動。						
授業の学習内容	サメ(軟骨魚綱 板鰓亜綱)という海洋生態系の頂点に位置するグループについての講義が中心となります。形態・分類・行動・食性・繁殖・人との関わりなど、サメを多角的に学び、保全活動について関心を高め、絶滅危惧種について自ら調べるスキルを身につけます。 海の環境を改善するためには、より多くの人に行動変化を起こさせる必要があります。購入するペットボトルを1本減らす、海岸のゴミを毎日1つ拾う、これらは些細なことかもしれませんが1億人が行動したらどうなるでしょう。まずは自らができることを考え、実行してみましょう。 ※サメの生体サンプルを使用するため、内容が変更になる場合があります。						
到達目標	①サメの知識を修得する。;座学だけでなく、生体および標本の観察・解剖といった体験によるシャーキビリティの向上を計る。 ②絶滅危惧種であるか否かを調べることができる。;IUCNレッドリストデータベースの最新情報を検索するスキルを得る。 ③使い捨てプラスチック製品の使用を減らす。;ペットボトルの購入本数削減計画を立て実行する。						
評価方法と基準	定期試験100% 筆記試験評価:GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月20日	ガイダンス	シラバスを理解することができる。サメの基礎及びサメの標本の作り方について知識を得ることができる。標本作りにおける提出レポートについて理解する。	Teams課題;アンケート（サメの印象、関心のある環境問題、好きな生物など、購入したペットボトル本数記録）
2	4月27日	標本作り実習	サメの頭の構造を理解し、頭骨と顎骨を分離する技術を体得する。	Teams課題;サンプル写真の提出、授業レポート、授業の要点疑問点、購入したペットボトル本数報告
3	5月11日	標本作り実習	サメの顎のクリーニング及び漂白する技術を習得する。	Teams課題;サンプル写真の提出、授業レポート、授業の要点疑問点、購入したペットボトル本数報告
4	5月18日	標本作り実習	サメの顎のクリーニング及び漂白する技術を習得する。	Teams課題;サンプル写真の提出、授業レポート、授業の要点疑問点、購入したペットボトル本数報告
5	5月25日	標本作り実習	サメの顎を固定し、乾燥を行い、標本を完成することができる。	Teams課題; 授業の要点疑問点、プラスチックが生物に与える影響とは何ですか、購入したペットボトル本数報告
6	6月1日	講義・演習	サメの分類、形態について知識を修得できる。	Teams課題; 授業の要点疑問点、プラゴミが魚よりも増えるのはいつですか。そうなると何が起きますか。購入したペットボトル本数報告
7	6月15日	講義・演習	サメの系統・分布について知識を修得できる。	Teams課題; 授業の要点疑問点、なぜ生物はプラスチックを食べてしまうのですか、絶滅危惧種の評価を調べる小テスト、購入したペットボトル本数報告
8	6月22日	講義・演習	サメの環境・生態について知識を修得できる。	Teams課題; 授業の要点疑問点、プラゴミを少なくするにはどうすれば良いですか。具体的にあなたができることは何ですか、購入したペットボトル本数報告
9	6月29日	講義・演習	サメと人との関わりについて知識を修得できる。	Teams課題; 授業の要点疑問点、漁業にはどんなスタイルの漁業がありますか。養殖のメリットとデメリットは何ですか。購入したペットボトル本数報告
10	7月6日	講義・演習	絶滅危惧種について自ら調べるスキルを体得できる。	Teams課題; 授業の要点疑問点、購入したペットボトル本数報告とレポートまとめ
11	7月13日	グループディスカッション	環境問題に関するテーマにおいて、問題点を指摘できる。	Teams課題; 授業の要点疑問点、購入したペットボトル本数報告
12	7月20日	グループディスカッション	環境問題に関するテーマにおいて、問題点を指摘できる。	Teams課題; 授業の要点疑問点、購入したペットボトル本数報告
13	8月31日	テスト対策	サメの基礎知識、IUCN絶滅危惧種評価検索を復習し、テストに向けて更に理解を深めることができる。ワークシート実施。	Teams課題; 授業の要点疑問点、購入したペットボトル本数報告
14	9月7日	テスト	テスト	
15	9月14日	振り返り	テスト結果からの振り返りを行うことで、サメの基礎知識及びIUCN絶滅危惧種について知識を深めることができる。ペットボトルの購入数を削減することができたかフィードバックできる。ワークシートの総括をすることで自らの関心ごとを認識できる。	Teams課題; 授業の要点疑問点、購入したペットボトル本数報告
準備学習　時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】 ほぼ命がけサメ図鑑（講談社）沼口麻子著　他

※IUCNレッドリスト検索の際は、タブレット端末などでの検索を許可する。

TCA東京ECO動物海洋専門学校

科目名	基礎生物1	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	髙山清次
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	授業形態	□ 講義	総時間（単位）	1 30		
教員の略歴	麻布大学大学院博士課程修了（獣医学博士）						
授業の学習内容	＜基礎生物＞動物に関する勉強をする場合の生物学的基礎知識を理解することを目的とする。 ＜体のしくみ＞動物の基本的な体の構造・骨格や生理的な知識について理解することを目的とする。						
到達目標	＜基礎生物＞この科目を受講した学生が、基礎生物学の知識を身につけることにより、動物業界で活躍する人材になることを目標とする。 ＜体のしくみ＞動物の体を構成する各器官の位置、構造、機能をそれぞれ理解することにより、動物の飼養管理や疾病予防に役立つことを目標とする。						
評価方法と基準	定期試験の結果（80%）に平常点（20%）を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	光合成・食物連鎖、血液の役割・成分・生成、消毒・滅菌を理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
2		講義	スーパーシス、濃度計算と希釈法、バイタルサイン、生体防御システムを理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
3		講義	エイズと免疫、アレルギーと免疫、ワクチンと免疫、外分泌と内分泌、代謝を理解でき	テキストの範囲を予習・復習する。
4		講義	五大栄養素、遺伝、繁殖、イヌとネコの交配を理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
5		講義	DNA・遺伝子・ゲノム、体細胞クローン動物、外来種、絶滅危惧種を理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
6		講義	温暖化、酸性雨、オゾンホール、エコロジー関連の国際条約を理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
7		試験	講義範囲の評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
8		講義	外皮系、消化器系（歯・食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆のう・膵臓）の構造と働きを理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
9		講義	泌尿器系（腎臓・膀胱）、呼吸器系（気管・肺）の構造と働きを理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
10		講義	生殖器系（雄性・雌性生殖器）、内分泌系（下垂体・甲状腺・副腎・胸腺）の構造と働きを理解でき	テキストの範囲を予習・復習する。
11		講義	循環器系（心臓・血液循環・リンパ系）、感覚器系（眼球・耳）の構造と働きを理解でき	テキストの範囲を予習・復習する。
12		講義	神経系（脳・脊髄）、筋系（骨格筋・横隔膜）の構造と働きを理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
13		講義	骨格系（骨格）、細胞の構造と働きを理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
14		試験	講義範囲の評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15		講義	評価試験返却・解説・まとめ	講義範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

「ECO業界で役立つ基礎生物　株式会社滋慶出版」「イラストで見る動物の体のしくみ（ECO専門基礎科目テキストセット）　株式会社滋慶出版」

科目名	恐竜学1	年次	1	担当教員	富田京一
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴					
授業の学習内容	かつて、恐竜と言えば日本の科学界においては異端として、どちらかと言えば残念にされた残念な歴史がありました。それは国内で恐竜化石が未発見だった過去の状況からすれば致し方なかったのでしょう。しかし現在では、恐竜化石の発見地は18都道府県におよび、魚竜や翼竜など近縁な大型爬虫類まで含めれば、国内の大半の地域が該当する勢いです。しかも恐竜は滅び去った時代遅れの代物ではなく、鳥類として今なお繁栄を極めていることが証明されています。動物園や水族館、鳥や爬虫両生類を取り扱う小売店など、主として現生生物を取り扱う業界においても、恐竜や進化に関する知識の需要も高まっており、こうした時代のニーズに即応すべく、ベーシックな知識や技術の習得を目指します。				
到達目標	恐竜とは何か、他の爬虫類をはじめ鳥類、哺乳類、両生類、昆虫、植物との関係や、地球環境との繋がりを含めて理解する。博物館や恐竜展でよく展示されていたり、図鑑や模型で一般的な知名度の高い恐竜について基本的な解説がこなせるようになる。また、もし高校で地学や生物を履修していない生徒でも、恐竜や古生物、進化に関連した業界に就職した場合に困らないだけの基礎的な知識をつける。				
評価方法と基準	定期試験を基準としますが、出席・授業態度も重視します(定期試験80% 授業内での小テスト・レポート各10%)。				

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	恐竜に関わる様々な仕事	授業の内容について復習(レポート)
2		講義	恐竜の定義と特徴	授業初め、前回の内容について議論
3		講義	様々な恐竜(恐竜の主だった系統)	授業初め、前回の内容について議論
4		講義	校外実習(昭島市郷土資料室を予定)	授業初め、前回の内容について議論
5		講義	恐竜時代史概論(三畳紀～白亜紀)	授業初め、前回の内容について議論
6		講義	恐竜の発掘と組み立て	授業初め、前回の内容について議論
7		講義	世界の様々な発掘現場	授業初め、前回の内容について議論
8		講義	日本の恐竜	授業初め、前回の内容について議論
9		講義	校外実習(あつぎ郷土博物館を予定)	授業初め、前回の内容について議論
10		講義	恐竜の体の仕組み	授業初め、前回の内容について議論
11		講義	恐竜の社会の仕組み	授業初め、前回の内容について議論
12		講義	恐竜時代の爬虫類(首長竜・翼竜等)	授業初め、前回の内容について議論
13		講義	これまで習得した知識や技術の確認	授業初め、前回の内容について議論
14		試験		
15		振り返り	二年次の学習内容に進むためのまとめ	学んだ内容についての復習の指示
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 教科書『恐竜の教科書』ダレン・ナイシュ/ポール・バレット(著) 小林快次/久保田克博/千葉謙太郎(監修・翻訳) 創元社　副読本『そうだったのか！ 初耳恐竜学』富田京一(著) 小学館　その他適宜プリント等を用意します。回夏休みに向けてのレポート提出

科目名	恐竜学Ⅱ	年次	1	担当教員	富田京一
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴					
授業の学習内容	かつて、恐竜と言えば日本の科学界においては異端として、どちらかと言えば残念にされた残念な歴史がありました。それは国内で恐竜化石が未発見だった過去の状況からすれば致し方なかったのでしょう。しかし現在では、恐竜化石の発見地は18都道府県におよび、魚竜や翼竜など近縁な大型爬虫類まで含めれば、国内の大半の地域が該当する勢いです。しかも恐竜は滅び去った時代遅れの代物ではなく、鳥類として今なお繁栄を極めていることが証明されています。動物園や水族館、鳥や爬虫両生類を取り扱う小売店など、主として現生生物を取り扱う業界においても、恐竜や進化に関する知識の需要も高まっており、こうした時代のニーズに即応すべく、ベーシックな知識や技術の習得を目指します。				
到達目標	恐竜とは何か、他の爬虫類をはじめ鳥類、哺乳類、両生類、昆虫、植物との関係や、地球環境との繋がりを含めて理解する。博物館や恐竜展でよく展示されていたり、図鑑や模型で一般的な知名度の高い恐竜について基本的な解説がこなせるようになる。また、もし高校で地学や生物を履修していない生徒でも、恐竜や古生物、進化に関連した業界に就職した場合に困らないだけの基礎的な知識をつける。				
評価方法と基準	定期試験を基準としますが、出席・授業態度も重視します(定期試験80% 授業内での小テスト・レポート各10%)。				

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	恐竜の定義と特徴(一年時の復習)	授業の内容について復習(レポート)
2		講義	恐竜解剖学概論Ⅰ(骨格系)その①	授業初め、前回の内容について議論
3		講義	恐竜解剖学概論Ⅰ(骨格系)その②	授業初め、前回の内容について議論
4		講義	校外実習(昭島市郷土資料室を予定)	授業初め、前回の内容について議論
5		講義	恐竜解剖学概論Ⅱ(皮骨と装甲)	授業初め、前回の内容について議論
6		講義	恐竜解剖学概論Ⅲ(筋肉系)	授業初め、前回の内容について議論
7		講義	恐竜解剖学概論Ⅳ(内臓・呼吸器系)	授業初め、前回の内容について議論
8		講義	恐竜解剖学概論Ⅴ(皮膚・羽毛系)	授業初め、前回の内容について議論
9		講義	校外実習(あつぎ郷土博物館を予定)	授業初め、前回の内容について議論
10		講義	恐竜解剖学概論Ⅵ(卵と胚)	授業初め、前回の内容について議論
11		講義	恐竜解剖学概論Ⅶ(脳・感覚系)その①	授業初め、前回の内容について議論
12		講義	恐竜解剖学概論Ⅶ(脳・感覚系)その②	授業初め、前回の内容について議論
13		講義	これまで習得した知識や技術の確認	授業初め、前回の内容について議論
14		試験		
15		振り返り	後期の学習内容に進むためのまとめ	後期に向けた予習(レポート)の指示
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 教科書『恐竜の教科書』ダレン・ナイシュ/ポール・バレット(著) 小林快次/久保田克博/千葉謙太郎(監修・翻訳) 創元社　副読本『そうだったのか！ 初耳恐竜学』富田京一(著) 小学館　その他適宜プリント等を用意します。 夏休みに向けてのレポート提出

科目名	公衆衛生	必修選択	選択	年次	2	担当教員	高山清次
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	麻布大学大学院博士課程修了（獣医学博士）						
授業の学習内容	感染症のしくみを学び、理解し明確な知識を持って、動物関係の仕事をする時、感染症の予防ができるようになることを目的としている。						
到達目標	この科目を受講した学生が、動物飼育の仕事に携わる時、感染症予防の知識を持って、行動できることを目標とする。						
評価方法と基準	定期試験の結果（80%）に平常点（20%）を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	感染症の成立を理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
2	4月24日	講義	感染と発症を理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
3	5月8日	講義	感染経路について理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
4	5月15日	講義	滅菌法、消毒法について理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
5	5月22日	講義	①ワクチンについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
6	5月29日	講義	②ワクチンについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
7	6月5日	講義	細菌：①大きさ、構造について、理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
8	6月12日	講義	細菌：②分類について、理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
9	6月19日	講義	細菌：③予防法と治療について、理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
10	6月26日	講義	細菌：④細菌感染症について、理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
11	7月3日	講義	特殊な細菌：①マイコプラズマについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
12	7月10日	講義	特殊な細菌：②クラミジアについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
13	8月28日	講義	特殊な細菌：③リケッチアについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
14	9月4日	試験	講義範囲の評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15	9月11日	講義	評価試験返却・解説・まとめ	講義範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

学校の図書室にある感染予防学関係の本やインターネットを利用する。

科目名	博物館メディア論 （前期）	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	3	担当教員	山﨑 優佑
学科・コース	恐竜・自然史博物専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 （単位）	45 1		
教員の略歴	2019年に立正大学大学院地球環境科学科専攻を修了。同年4月からNPO法人バードリサーチで越冬期の鳥類の分布状況について調査・分析を行っている。						
授業の学習内容	博物館における情報・メディアを学習する。						
到達目標	博物館における情報・メディアとは何かを説明できるようになる。						
評価方法と基準	作品評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 試験資格は学生便覧学則に沿うものとする。 出席率66.7%以上に試験受験後の単位認定を行う。 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	メディアとしての博物館	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
2	4月26日	講義	情報とメディアの基礎	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
3	5月10日	講義	メディア・リテラシー	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
4	5月17日	講義	デジタル・アーカイブズ	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
5	5月30日	講義	知的財産	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
6	6月7日	講義	博物館のユニバーサルデザイン	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
7	6月14日	講義	博物館教育と情報・メディア	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
8	6月21日	講義	様々なコミュニティとの連携	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
9	6月28日	講義	科学系博物館における情報・メディア	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
10	7月5日	講義	水族の博物館における情報・メディア	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
11	7月12日	講義	日本モンキーセンターにおける情報・メディア	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
12	7月19日	講義	民族と歴史の博物館における情報・メディア	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
13	8月30日	講義	試験勉強	準備学習：これまでの授業の復習 時間外学習：授業内容の復習
14	9月6日	講義	期末試験(ペーパーテスト実施)	準備学習：これまでの授業の復習 時間外学習：授業内容の復習
15	9月13日	講義	試験解答及び全過程の総括	理解しにくかった項目を予め調べる
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	博物館メディア論 （後期）	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	3	担当教員	山﨑 優佑
学科・コース	恐竜・自然史博物専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 （単位）	45 1		
教員の略歴	2019年に立正大学大学院地球環境科学科専攻を修了。同年4月からNPO法人バードリサーチで越冬期の鳥類の分布状況について調査・分析を行っている。						
授業の学習内容	博物館における情報・メディアを学習する。 学校に展示されている標本に関する情報・メディアを考える						
到達目標	博物館における情報・メディアとは何かを説明できるようになる。 学校の展示品の解説や情報発信を行う。						
評価方法と基準	作品評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） レポート課題を提示し、提出をもって評価する。 出席率66.7%以上に試験受験後の単位認定を行う。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義	美術館における情報・メディア	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
2	10月11日	実習	南三陸実習	
3	10月18日	講義	地域の総合博物館における情報・メディア	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
4	10月25日	講義	考古の博物館における情報・メディア	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
5	11月1日	講義	地域の総合博物館における情報・メディア	準備学習：教科書を読んでおく 時間外学習：授業で学習した内容の復習
6	11月8日	講義	恐竜・自然史博物専攻における情報・メディア （校内の展示品の情報メディアを考えていく）	準備学習：これまでの授業の復習 時間外学習：発表の準備
7	11月15日	講義	恐竜・自然史博物専攻における情報・メディア （校内の展示品の情報メディアを考えていく）	準備学習：これまでの授業の復習 時間外学習：発表の準備
8	11月22日	講義	恐竜・自然史博物専攻における情報・メディア （校内の展示品の情報メディアを考えていく）	準備学習：これまでの授業の復習 時間外学習：発表の準備
9	11月29日	講義	恐竜・自然史博物専攻における情報・メディア （校内の展示品の情報メディアを考えていく）	準備学習：これまでの授業の復習 時間外学習：発表の準備
10	12月6日	講義	恐竜・自然史博物専攻における情報・メディア （校内の展示品の情報メディアを考えていく）	準備学習：これまでの授業の復習 時間外学習：発表の準備
11	12月13日	講義	恐竜・自然史博物専攻における情報・メディア （校内の展示品の情報メディアを考えていく）	準備学習：発表の準備 時間外学習：発表の振り返り
12	1月10日	講義	レポート作成	準備学習：これまでの授業の復習 時間外学習：レポート作成
13	1月17日	講義	レポート作成・最初の提出	準備学習：レポート作成 時間外学習：レポート作成・修正
14	1月24日	講義	レポート修正	準備学習：なし 時間外学習：レポート作成・修正
15	1月31日	講義	最終レポート提出	準備学習：レポート作成・修正 時間外学習：なし
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	地学	必修選択	必修・選択必修・選択等	年次		担当教員	保坂尚伸
学科・コース		授業形態	講義・演習・実習等	総時間（単位）	45 1		
教員の略歴	立正大学文学部地理学科卒、通信制高校サポート校栄光国際学院、わせがく高等学校、東邦大学付属東邦中学高等学校、						
授業の学習内容	化石に関わる知識をより深めるために地学を学ぶ。						
到達目標	・地球上で起こっている様々な変化を理解できるようになる。 ・岩石の特徴を知る。 ・化石がどのように作られるのかを理解できるようになる。 ・化石がどのように出現するのかを理解できるようになる。 ・古代生物の進化の過程を理解できるようになる。 ・化石の採集、及びクリーンナップに必要な知識を得る。						
評価方法と基準	定期試験を基準とし、出席及び授業態度も加味する。（定期試験80%　その他20%）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	地球の構造(地球の内部及びプレートテクトニクス等)を理解する。	レポート
2		講義	地震の起こる仕組みを理解する。	レポート
3		講義	火山活動について理解する。	レポート
4		講義	地表面の変化(侵食、風化など)について理解する。	レポート
5		講義	小地形(扇状地、三角州など)について理解する。	レポート
6		講義	堆積岩について理解する。	レポート
7		講義	変成岩について理解する。	レポート
8		講義	地層について理解する。	レポート
9		講義	化石について理解する。	レポート
10		講義	地球の歴史について理解する。その1　先カンブリア時代	レポート
11		講義	地球の歴史について理解する。その2　古生代	レポート
12		講義	地球の歴史について理解する。その3　中生代	レポート
13		講義	地球の歴史について理解する。その4　新生代及び生物の大量絶滅	レポート
14		試験	試験	試験の準備
15		講義	振り返り	試験の振り返り
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	地球科学概論1地理	必修選択	選択	年次	2	担当教員	保坂尚伸
学科・コース	エコ・イノベーション（4年制）昼一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	立正大学文学部地理学科卒、通信制高校サポート校栄光国際学院、わせがく高等学校、東邦大学付属東邦中学高等学校、						
授業の学習内容	地理を通じ、世界各地の気候風土を知り、各地の文化に触れながら、世界の国々について学ぶ。						
到達目標	・世界の国々を知る。 ・世界各地の気候風土の特徴を理解する。 ・世界各地の文化の成り立ちと違いを知る。 ・世界各地の文化に触れ、文化の違いを許容できるような広い心を培う。 ・国と国、人と人の繋がりの重要性を理解する。 ・様々な情報や知識を活用し、より深く物事を探求する姿勢を身につける。						
評価方法と基準	定期試験を基準とし、出席及び授業態度も加味する。（定期試験80%　その他20%）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	世界の大陸、海洋、国々の配置などを理解する。	レポート
2		講義	世界の気候、地形について学ぶ。	レポート
3		講義	東アジアについて学ぶ。	レポート
4		講義	東南アジアについて学ぶ。	レポート
5		講義	南アジアについて学ぶ。	レポート
6		講義	西アジアについて学ぶ。	レポート
7		講義	中央アジアについて学ぶ。	レポート
8		講義	ヨーロッパについて学ぶ。	レポート
9		講義	アフリカについて学ぶ。	レポート
10		講義	北アメリカについて学ぶ。	レポート
11		講義	南アメリカについて学ぶ。	レポート
12		講義	オセアニアについて学ぶ。	レポート
13		講義	日本について学ぶ。	レポート
14		試験	試験	試験の準備
15		講義	振り返り	試験の振り返り
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	次世代の為の環境教育Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	加藤直邦
学科・コース	エコイノベーション科（4年制）昼一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	ケニア・プロサファリガイド　／アフリカ野生生物管理大学　／青年海外協力隊、環境教育活動						
授業の学習内容	主にeco検定（環境社会検定試験）テキストを教材とし、一般常識として地球のしくみや、人間の歴史を通じて環境問題を考え、次世代型環境教育ビジネスに活かせる知識や技術を習得する。						
到達目標	地球環境や自然保護についての基礎知識を学ぶ。 動物や自然を通して自分の考えを伝える技術を身につける。 SDG’sや国際条約などの取り組みを理解し具体的に支援していく。 グローバル社会に対応するための社会人育成。						
評価方法と基準	筆記テストにおける理解力チェックと、発表による評価 Teams による「授業おさらいクイズ」など課題の提出 筆記テスト80%、授業の積極的参加態度20%						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	座学	なぜ環境問題を学ぶのか知る	エコ検定試験について調べる
2	4月24日	座学	環境問題の歴史を知る	エコ検定テキストとTeams による授業おさらいクイズで復習
3	5月8日	座学	SDG’sを知る	エコ検定テキストとTeams による授業おさらいクイズで復習
4	5月15日	座学	宇宙のしくみと地球の歴史を知る	エコ検定テキストとTeams による授業おさらいクイズで復習
5	5月22日	座学	大気にまつわる環境問題を学ぶ	エコ検定テキストとTeams による授業おさらいクイズで復習
6	5月29日	座学	大気にまつわる環境問題を学ぶ	エコ検定テキストとTeams による授業おさらいクイズで復習
7	6月5日	座学	海洋のしくみと環境問題を学ぶ	エコ検定テキストとTeams による授業おさらいクイズで復習
8	6月12日	座学	屋内アクテビティを体験する	Teams による感想レポートの提出
9	6月19日	座学	水循環と環境問題を学ぶ	エコ検定テキストとTeams による授業おさらいクイズで復習
10	6月26日	座学	土壌と森林について学ぶ1	エコ検定テキストとTeams による授業おさらいクイズで復習
11	7月3日	座学	土壌と森林について学ぶ2	エコ検定テキストとTeams による授業おさらいクイズで復習
12	7月10日	グループワーク	熱帯雨林について考える	Teams による感想レポートの提出
13	8月28日	座学	中間テスト前の授業を復習する	エコ検定過去問題集で復習
14	9月4日	座学	中間テスト	試験範囲の予習と対策
15	9月11日	座学	テストの振り返りと自己評価する	不正解問題の訂正
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

エコ検定公式テキスト

科目名	疾病と予防1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	岩田光一
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	北里大学獣医畜産学部獣医学科卒　獣医師　学芸員　伊豆シャボテン公園元園長　（公社）日本動物園水族館協会会友 （公社）日本植物園協会名誉会員　（一財）進化生物学研究所客員研究員						
授業の学習内容	疾病と予防　総論　　疾 病とはどういったことなのかを理解した上で、総論としてどういった疾病があり、動物に係る者として基本的にどういったことをしなければならないのか（予防と対処）を講義していく						
到達目標	予防の重要性を認識し、日頃から何をすべきかを意識でき、行動できるようすする。						
評価方法と基準	定期試験を基本100%とするが課題や講義への姿勢も加味する。 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4/19	講義	疾病とは、	
2	4/26	講義	人と動物の共通感染症（ズーノーシス）	厚生労働省HPより動物由来感染症ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ2022をﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞし見ておく
3	5/10	講義	人と動物の共通感染症（ズーノーシス）	動物由来感染症ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ2022をよく読んでおく
4	5/17	講義	疾病の予防総論	
5	5/31	講義	疾病と治療	
6	6/7	講義	疾病の予防詳細	
7	6/14	講義	疾病の予防詳細	
8	6/21	講義	感染症に対する対処	
9	6/28	講義	疾病の発見	
10	7/5	講義	疾病の治療（ﾊｽﾞﾊﾞﾝﾀﾞﾘｰﾄﾄﾚｰﾆﾝｸﾞなども）	
11	7/12	講義	感染症予防（防疫の原則や消毒）	
12	7/19	講義	寄生虫症について	
13	8/30	講義	前期復習ならびに定期試験に向けて	
14	9/6	試験	前期定期試験	
15	9/13	講義	前期定期試験解説	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動物由来感染症ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ2022（厚生労働省）、改訂版新・飼育ハンドブック1、5

科目名	水生生物飼養管理1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	江口
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	日本動物植物専門学院獣医看護科卒/OMファーム岩村/ペットショップパピー/A＆FCOUNTORY/名古屋コミュニケーションアート専門学校/東京ECO動物海洋専門学校　渡英経験あり						
授業の学習内容	魚類・両生爬虫類の基本的な飼育管理を学び、卒業後の業務に活かす方法を学びます。						
到達目標	動物を飼育する心構えを理解できる。 基本的な道具を正しく扱えるようになる。 基本的な淡水の水質管理を行えるようになる。 基本的な海水の水質管理の知識を身に付ける。 不測の事態の対応、リスクマネージメントを行うことができる。 水生生物飼育管理方法の基礎を人に伝えることができる。 最終試験において作品評価60点以上を取得し、単位の認定を受ける。						
評価方法と基準	作品評価：GPA（A100～90　B89～80　C79～70　D69～60　F59～0） 試験資格は学生便覧学則に沿うものとする。 出席率66.7%以上に試験受験後の単位認定を行う。レポートはルーブリック評価を行う。 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋・もしくは課題の再提示）の提出をもってDの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	動物を飼育するにあたって大切な心構え／4つの大切な事／授業目的・目標を明確にして、方法としての学習方法を理解する	自分が飼育したことのある動物について振り返る。いつ・どのくらい飼育できたか？なぜ飼育したのか？など
2		講義・演習	水について①酸度（水素イオン濃度）の調べ方 水道水／ミネラルウォーター／飼育水／　ＢＴＢ溶液を使って	世界の水の循環について学ぶ、海水の量・淡水の量
3		講義・演習	水について②海水と淡水の違い　硬度とＰＨの関係／海水の作り方	海水の成分の予習／好きな寿司ネタ・魚の味を調べる
4		講義・演習	水について③浸透圧　硬度・ＰＨ・濃度／比重について	身近にある浸透圧を利用したものを調べる
5		講義・演習	水について④濃度について　　％／‰／ｐｐｍ　濃度の計算	濃度計算の予習
6		講義・演習	飼育水の変化①　硝化のサイクルとＰＨの関係	自然界の硝化作用について調べる
7		講義・演習	飼育水の変化②　硝化から窒素還元　海水魚とサンゴの飼育方法	干潟の役割と赤潮、青潮の仕組みを調べる
8		講義・演習	魚類飼育の機材について　　水槽①　ガラス／アクリルのメリットデメリット	有機ガラス・無機ガラスの違いを調べる　シリカとアクリル
9		講義・演習	魚類飼育の機材について　　水槽　②ガラス／アクリルの加工	今までの重要キーワードの振り返り
10		講義・演習	魚類飼育の教材について　　ろ過装置①　エアーレーション エアリフトと曝気　エアレーションーとCO2の関係	各種ろ過装置と窒素還元の関係を調べる
11		講義・演習	魚類飼育の教材について　　ろ過装置②　エアーレーション 投げ込み式／底面／スポンジ　　メリットとデメリット	各種ろ過装置と窒素還元の関係を調べる
12		講義・演習	魚類飼育の教材について　　ろ過装置③　マグネットポンプ 上部式／外掛け式／外部式	各種ろ過装置と窒素還元の関係を調べる
13		講義・演習	魚類飼育の教材について　　ろ過装置④　マグネットポンプ オーバーフロー式とサイフォンの原理	各種ろ過装置と窒素還元の関係を調べる
14		試験	筆記試験	筆記試験
15		振り返り	飼育管理手順について、飼育している生物について	前期の振り返り
準備学習　時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促します。	

【使用教科書・教材・参考書】 必要に応じてプリントの配布を行います。予習としてYoutube動画の視聴を適宜勧めます。

※材料は学校で準備をします。※恐竜校舎地下、321教室の両方を使用します。

科目名	水族館研究Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤充
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	北里大学水産学部卒業 （株)淡島マリンパーク元館長 Wonder Labo代表						
授業の学習内容	水族館の飼育者を目指す為には飼育の基本となる「新飼育ハンドブック」の内容を把握する必要があるので、これを中心に授業を行います。飼育ハンドブックの内容は読んだだけでは解りにくいため、深く理解できるよう映像など含め授業を進めていきます。 授業は座学が中心ですが、実際に濾過槽などの機材を使用したり、水族館の見学を行ったりしてハンドブックの内容を体験も含め学習します。						
到達目標	魚類飼育全般の基礎知識を理解することが出来る。 海獣飼育全般の基礎知識を理解することが出来る。						
評価方法と基準	小試験20% 定期試験80% 筆記試験評価：GPA（S100～90 A89～80 B79～70 C69～60 F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	授業内容の進め方説明とアンケート	一年間の流れや、生徒の疑問質問に答える
2	講義	水族館概論 現在の動物園・水族館の役割がどのように変わってきているのか理解できる。	新飼育ハンドブック3 P1～P32の熟読と理解
3	講義	餌料 餌料の大切さと工夫を理解できる。	新飼育ハンドブック1 P61～P90の熟読と理解
4	講義	繁殖 魚類だけでなく海獣の人工繁殖など水族館で取り組んでいる活動を理解できる。	新飼育ハンドブック1 P1～P60の熟読と理解
5	講義	危機管理	新飼育ハンドブック5 P1～P83、の熟読と理解
6	講義	トレーニング	新飼育ハンドブック5 P113～P139136の熟読と理解
7	講義	展示1 水族館における展示の意味と効果について理解できる。	新飼育ハンドブック4 P1～P90の熟読と理解
8	見学	水族館の見学を通し、展示にどのような工夫がされていて、どのような効果があるのか説明できる	見学を持って充当する
9	見学		
10	演習	展示2 見学を通し明確になった展示の目的の再確認と、その他の展示の意味を説明できる。	プレゼンテーション
11	講義	ダイビング実習	
12	講義	教育 動物園・水族館の教育活動について具体的活動を元に説明・理解できる。	新飼育ハンドブック4 P91～P150の熟読と理解
13	講義	前期まとめ 前期の授業を再確認し、不明な点、疑問点を洗い出し、より深い理解ができる。	
14	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	講義	テスト結果の振り返りを行うことで、動物園水族館の役割をより深く理解する	前期に取り扱った新飼育ハンドブック全般
準備学習 時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】

新飼育ハンドブック ※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	水族館研究Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	佐藤充
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制（昼一）	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	北里大学水産学部卒業 （株)淡島マリンパーク元館長 Wonder Labo代表						
授業の学習内容	水族館の飼育者を目指す為の基本となる「新飼育ハンドブック」を中心に授業を行います。飼育ハンドブックの内容は読んだだけでは解りにくいため、深く理解できるよう映像など含め授業を進めていきます。 授業は座学が中心ですが、実際に濾過槽などの機材を使用したり、水族館の見学を行ったりしてハンドブックの内容を学習します。						
到達目標	魚類飼育全般の基礎知識を理解することが出来る。 海獣飼育全般の基礎知識を理解することが出来る。						
評価方法と基準	小テスト20% 定期試験筆記80% 筆記試験評価：GPA（S100～90 A89～80 B79～70 C69～60 F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	収集 水族館における収集活動が理解できる	新飼育ハンドブック2 P1～P51、P105～P127の熟読と理解
2	講義	輸送 動物の安全な輸送についての理解と説明が出来る。	新飼育ハンドブック2 P53～P86、P129～P152の熟読と理解
3	講義	保存 保存の意味と役割について説明できる。	新飼育ハンドブック2 P153～P169の熟読と理解
4	講義	分類	新飼育ハンドブック3 P33～P65の熟読と理解
5	講義	生理	新飼育ハンドブック3 P91～P117の熟読と理解
6	講義	生態	新飼育ハンドブック3 P129～P138の熟読と理解
7	見学	水族館見学	
8			
9	講義	見学した施設の復習	見どころ、工夫していた所を各自考える
10	講義	研究・広報 水族館で行われている研究活動について説明・理解できる。	新飼育ハンドブック4 P151～P162の熟読と理解
11	講義	施設運用	新飼育ハンドブック5 P87～P1096の熟読と理解
12	講義	病気 病気の原因と改善点が理解できる	新飼育ハンドブック1 P91～P124の熟読と理解
13	講義	前期まとめ 前期の授業を再確認し、不明な点、疑問点を洗い出し、より深い理解ができる。	
14	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	講義	テスト結果からの振り返りを行うことで、水質と飼育管理の理解を深める	アクアルームの飼育当番・補助の作業を時間外学習に充当する。
準備学習 時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】

鑑賞魚飼育・管理士ハンドブック／鑑賞魚飼育・管理士ハンドブックⅡ ※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許す

科目名	生物分類学１	必修 選択	選択	年次	1、2	担当教員	菅野　宏文
学科・コース	エコ・イノベーション科（４年制）昼一	授業 形態	講義	総時間 （単位）	３０ 1		
教員の略歴	日本蛇族学術研究所・研究員、伊豆アンディランド　学芸員、現在は執筆活動						
授業の学習内容	近年大きく変わりつつある生物分類の体制において、最新の知識を身につける。五界説の動物界または３ドメインセオリーのオピストコンタ界動物亜界の門・綱・目のレベルまでの分類体制を講義において行う。 最終的には業界人として職に就く上での必要最小限の知識を身につける。						
到達目標	高校時に履修すべき項目はもちろんのこと、専門学校生として一歩進んだ知識を身につけ、動物園・水族館・企業などの採用試験に対応できる学力を培う。また、生物分類技能検定３級において、動物における設問はすべて解答できる学力を身につける。						
評価方法と基準	出席率・試験成績により判断する。 出席率70%以上の学生には2点、80%以上の学生には3点、90%以上の学生には5点、上記の点数を筆記試験に加点する。 筆記試験評価　GPA〔A 100～90、B 89～80、C 79～70、D 69～60、F 59～0(不合格)となる。〕 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4/19	講義	生物の分類：分類の概念 分類の必要性を理解し、述べる事ができる。	分類の必要性を考える。
2	4/26	講義	現在の分類法：それぞれの分類法の 概念の違いを学び、述べる事ができる。	身近な生物を数種仲間分け。
3	5/10	講義	リンネ式分類学：分類に使用される階級 リンネ式分類の仕組みを理解し、説明できる。	動物を1種選び門～属までを調べる。
4	5/17	講義	種の概念と定義：種とは何かを把握し、述べる事ができる。	雑種が種ではない理由を調べる。
5		講義	国際動物命名規約：学名について その原則を理解し、説明できる。	動物を1種選び学名を調べる。
6		講義	生物分類の大綱：現在有力視されている 五界説について学び、述べる事ができる。	生物を5つの界に分けた理由を調べる。
7		講義	3ドメインセオリー：最新の分類の動向を学び、述べる事ができる。	五界説の矛盾を調べる。
8		講義	外来生物法について学び、説明できる。	特定外来生物を1種選び詳しく調べる。
9		講義	ワシントン条約について学び、説明できる。	飼育室の動物で条約に関係している種をカテゴリーごとに調べる。
10		講義	種の保存法・文化財保護法について学び、説明できる。	天然記念物を1種選び詳しく調べる。
11	8/30	講義	動物の愛護及び管理に関する法律。 特定動物について述べる事ができる。	学校で飼育している特定動物を1種選び詳しく調べる。
12		講義	大町自然学校実習（野生）	実習の準備
13		講義	相模湖カヌー実習（野生）	実習の準備
14	9/16	講義・試験	期末試験・ペーパーテスト実施 試験に解答する事ができる。	試験に対する準備を行う
15	9/13	講義	試験解答および全過程の総括 講義の全体像を理解する事ができる。	理解がよくできていない項目を確認する。
準備学習　時間外学習			各自ノートを読み返しをし、復習に努める。講義の予習、下調べ学習を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】
（参考書）内田亨著（1965）：「動物系統分類の基礎」（株式会社　北隆館）
（社）日本動物園・水族館協会「飼育ハンドブック・動物園編」Ⅲ

科目名	映像製作	必修選択	選択	年次	2	担当教員	ami film 高橋あき子Jerry
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	180 6		
教員の略歴	南山短期大学英語科卒、国際教育団体UpWithPeople、映像制作ヴィジュアルベイ、フリーランス映像ディレクター、ami film設立						
授業の学習内容	映像制作は、ビジュアルメディアを通じて情報やメッセージを伝えることができる非常に有用な手段です。また、いかなる分野においても映像技術を使うことによって、より的確に情報を伝え、人々の心に深い印象を残すことができます。授業ではカメラの使い方、PremiereproやPhotoshopを使用した映像編集のノウハウ、そして映像を制作する上で最も重要となる構成台本の作成の仕方などを学んでいきます。技術を習得するには、撮影～編集までのサイクルを何度も繰り返すことが重要です。「トライアンドエラー」で学んでいきます。						
到達目標	・ビデオカメラを使って、必要なカット、シーン、インタビューなどが撮影できるようになる。 ・撮影した素材を用い、映像編集ソフトで編集し、テロップをデザインして作成することができるようになる。 ・作品の最終完成系をイメージしながら、構成台本を作成できるようになる。 ・取材対象者から適切な答えを引き出せる会話力を身に着ける。 ・伝えたいメッセージを丁寧に視聴者に伝えることができる。						
評価方法と基準	撮影、編集技術を積極的に学ぼうとする姿勢。時間を守る姿勢。 講義後半の演習で、自ら作成した台本を元に映像作品を撮影・編集し、完成させる。その作品がきちんと視聴者に届くものとなっているか、授業で学んだ撮影・編集技術が行かされているかを評価する。 （判定基準：A100～90　B89～80　C79～70　D69～60　F59～0）						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	●半期の授業内容を説明。●1年次に作成した葛西臨海水族園の映像をさらにブラッシュアップ。	●個人目標の策定。●テロップ作成復習、音楽入れ、音調整、最終仕上げ。
2	4月26日	講義	「恐竜校舎B1撮影」①　光の方向、強弱などを意識しながらを印象的に見せる撮影方法を学ぶ。	カメラの設定、露出、シャッタースピード、ISO、色温度を認識する。
3	5月10日	講義・演習	「恐竜校舎B1編集」②　カット編集、カラー編集、エフェクトを用いた編集を学ぶ。	編集の基本となるカット、移動、ペーストなどシークエンス上の作業工程とカラー調整を理解する。
4	5月17日	講義・演習	「恐竜校舎B1編集」③　文字、音楽を加えてさらにブラッシュアップした編集をする。	スタイリッシュな文字の見せ方、音楽に合わせた編集、効果音の入れこみ方を理解する。
5	5月31日	講義・演習	5/27イベント「アソビスキー編集」①　映像素材を整理し、構成台本を作成する。	イベントの概要、内容、見せ場を考え、視聴者に分かりやすい構成の作成方法を理解する。
6	6月14日	講義・演習	「アソビスキー編集」②　構成に基づいてカット編集。全体像を掴み、仮編集を完成させる。	構成内容を映像と照らし合わせ、踏襲・修正する部分を明確化する。作品の全体像を理解する。
7	6月21日	講義・演習	「アソビスキー編集」③　色味調整、繋ぎのエフェクト追加、コメントフォローテロップを挿入。	全体のトーンを決定し、全体像をさらにブラッシュアップさせる方法を理解する。
8	6月28日	講義・演習	「アソビスキー編集」④　Photoshopでテロップ入れ、音楽・効果音を挿入。完パケまで仕上げる。	音楽や効果音によって変わる印象の変化を理解し、今作にふさわしいトーンを確定させる。
9	7月5日	講義・演習	「新校舎撮影」①　飼育実習室、爬虫類室で撮影。前半で取材対象者を一人決め、撮影開始。	取材対象者の選び方、撮影時の質問の仕方、必要カットを理解する。取材対象者を魅力的に見せる努力、必要なインサートカットの選別方法を理解する。
10	7月12日	講義・演習	「新校舎撮影」②　飼育実習室、爬虫類室で撮影。取材対象者を一人決め、ドキュメンタリーを撮影。	
11	7月19日	講義・演習	「新校舎編集」③　撮影素材の整理。インタビュー、インサートカットの選別、構成を作成。	素材を整理し、構成台本へ落とし込む方法を認識する。
12	8月23日	講義・演習	「新校舎撮影」④　飼育実習室、爬虫類室で撮影。取材対象者の成長が見えるように撮影する。	構成内容からさらにブラッシュアップさせる要素を考え、構成をレベルアップさせる方法を理解する。
13	8月30日	講義・演習	「新校舎撮影」⑤　撮影素材の整理、構成のブラッシュアップ。ナレーション作成。	同録（取材対象者の声）にナレーションを加えることによって、さらに情報量を充実させる。
14	9月6日	講義・演習	「新校舎撮影」⑥　色味調整、繋ぎのエフェクト追加、コメントフォローテロップを挿入。	全体のトーンを決定し、全体像をさらにブラッシュアップさせる方法を理解する。
15	9月13日	講義・演習	「新校舎撮影」⑦　Photoshopでテロップ入れ、音楽・効果音を挿入。完パケまで仕上げる。	音楽や効果音によって変わる印象の変化を理解し、今作にふさわしいトーンを確定させる。
準備学習　時間外学習			映画、ドラマ、テレビ番組など、様々な映像を鑑賞し、積極的に自作に取り入れる。	

【使用教科書・教材・参考書】 映像の学びは日々の生活に溢れています。映画、ドラマ、テレビ番組、さらにはSNSのショート映像など。面白いと思った作品があれば何が面白かったのかを自分なりに考え、自作に生かす努力をしましょう。

科目名	比較解剖学Ⅰ	必修選択	必修	年次	2年次	担当教員	髙山清次
学科・コース	エコ・イノベーション科(4年制)昼一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 1		
教員の略歴	麻布大学大学院博士課程修了(獣医学博士)						
授業の学習内容	脊椎動物の比較解剖学を学ぶことによって、「恐竜」というキーワードの業界で働く上で、必要になると考えられる恐竜の解剖学的なことを、理解することを目的としている。						
到達目標	この科目を受講した学生が、「恐竜」等の化石の各部の構造や働き等を理解した上で、解説やレプリカ作成時等の実践で活用できるようになることを目標としている。						
評価方法と基準	定期試験の結果(80%)に平常点(20%)を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	比較解剖学の概念① 適応、種分化について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
2		講義	比較解剖学の概念② 発生、生物進化について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
3		講義	動物の進化の歴史について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
4		講義	外皮：魚類・水生両生類の表皮、四肢動物の表皮等について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
5		講義	魚類から哺乳類までの外皮①　無顎類、軟骨魚類、硬骨魚類について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
6		講義	魚類から哺乳類までの外皮②　両生類、爬虫類、鳥類、ほ乳類について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
7		講義	骨の構造 骨、軟骨等について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
8		講義	脊柱の構造①椎骨の形態、魚類の脊柱について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
9		講義	脊柱の構造②　(四肢動物の椎骨の進化等)について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
10		講義	肋骨の構造① 魚類、両生類について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
11		講義	肋骨の構造② 爬虫類、鳥類、哺乳類等について理解でき	テキストの範囲を予習・復習する。
12		講義	頭蓋の構造①　神経頭蓋について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
13		講義	頭蓋の構造②　両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類について理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
14		試験	講義範囲の評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15		講義	評価試験返却・解説・まとめ	講義範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

学校の図書室にある比較解剖学等の本やインターネットを利用する。

科目名	爬虫両生類学Ⅱ	年次	2	担当教員	富田京一
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）昼一	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴					
授業の学習内容	水族館など主として海岸生物を取り扱う業界においても、生態系、生物多様性といった概念の普及に伴って、さまざまな動植物の展示や教育活動が行なわれるようになりました。かつては常に脇役に甘んじていた爬虫類や両生類に対する世間の関心や需要も非常に高まっています。水生生物や愛玩動物を取り扱う問屋、小売店においても、それは同様の傾向にあると考えられます。また、爬虫類・両生類は他の脊椎動物とも生物学上密接なつながりを持っており、たとえば魚類学を学ぶ際にそれを補完するものとして欠くべからざるものです。 時代のニーズに即した爬虫類・両生類に関する学問的な知識や飼育技術の習得は、今後ますます求められていくものと予想されるため、それに即応した教育を目指します。				
到達目標	爬虫類・両生類とはいかなる動物か、進化的な背景も含めて理解する。水族館・動物園でよく展示されていたり、一般に流通している種類についてひととおりの飼育がこなせるようになる。希少であったり、反対に外来生物として環境問題となっている、また国内外のネイチャーツアーなどで観察できる代表的な種類を識別できるようになる。およびまた、もし高校で生物を履修していない生徒でも、爬虫両生類関連の業界に就職した場合に困らないだけの基礎的な知識をつける。				
評価方法と基準	定期試験を基準としますが、出席・授業態度も重視します(定期試験80% 授業内での小テスト・レポート各10%)。				

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	爬虫両生類とは何か(復習)	一年時の内容について復習(レポート
2		講義	飼育の基本(ケージ・保温・衛生面等)	授業初め、前回の内容について議論
3		講義	水生ガメの高度な飼育法や保全を学ぶ	授業初め、前回の内容について議論
4		講義	校外実習(あきる野市横沢入を予定)	授業初め、前回の内容について議論
5		講義	ウミガメの保全活動と基本的な飼育法	授業初め、前回の内容について議論
6		講義	陸生ガメの高度な飼育法や保全を学ぶ	授業初め、前回の内容について議論
7		講義	爬虫両生類の餌学(栄養素と飼育法)	授業初め、前回の内容について議論
8		講義	トカゲ総論と地上生種の高度な飼育法	授業初め、前回の内容について議論
9		講義	校外実習(厚木市七沢を予定)	授業初め、前回の内容について議論
10		講義	樹上生トカゲの分類と高度な飼育法	授業初め、前回の内容について議論
11		講義	カメレオン・ヤモリ類の高度な飼育法	授業初め、前回の内容について議論
12		講義	オオトカゲ・ドクトカゲの高度な飼育法	授業初め、前回の内容について議論
13		講義	これまで習得した知識や技術の確認	授業初め、前回の内容について議論
14		試験		
15		振り返り	後期の学習内容に進むためのまとめ	後期に向けた予習(レポート)の指示
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】適宜プリント等を用意します。回によってスライドやビデオ等の画像や、生体・骨格標本・液浸標本も使用。

科目名	動物園研究Ⅰ	必修選択	必修・選択必修・選択等	年次	1	担当教員	岩田光一
学科・コース	エコ・・イノベーション科(4年制)昼一	授業形態	講義・演習・実習等	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	北里大学獣医畜産学部獣医学科卒　獣医師　学芸員　伊豆シャボテン公園元園長　（公社）日本動物園水族館協会会友 （公社）日本植物園協会名誉会員　（一財）進化生物学研究所客員研究員						
授業の学習内容	博物館や動物園 の歴史、動物に関する社会的環境、動物の生理、形態（解剖学的）、などを基本的な部分を中心に一年を通して学びます。 また、動物園やそこで働くスタッフの意義やいくつかの動物園の写真を見ながら、これからの動物園を考えていきたい。						
到達目標	自然史という大きなくくりの中で、自然史博物館、動物園、水族館、植物園などがどのように進んでいくかを考えられるようになりたい。						
評価方法と基準	定期試験を基本100%とするが課題や講義への姿勢も加味する。 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	講義概略、博物館、動物園の歴史（中世まで）	自身が思う動物園像などをいつでも話せるように整理しておいて下さい。（年間を通して）
2	4月26日	講義	歴史（近代）（公社）日本動物園水族館協会とは？	
3	5月10日	講義	動物に関する社会的環境（条約等）	
4	5月17日	講義	動物に関する社会的環境（法等）	
5	5月31日	講義	動物福祉、動物分類の基本について	
6	6月7日	講義	生理学とは？生体の構成や基本的生命現象について	
7	6月14日	講義	器官および系統について	
8	6月21日	講義	血液（成分、役割、血液型等）ならびに血液循環について	
9	6月28日	講義	骨格について	
10	7月5日	講義	歯について、体側について	
11	7月12日	講義	胸腔内臓器、腹腔内臓器、肝臓と腎臓の形態	
12	7月19日	講義	消化について（口腔内消化）	
13	8月30日	講義	前期講義まとめ	
14	9月6日	試験		
15	9月13日	講義	試験解説	
準備学習　時間外学習			動物の生息地の環境（植生、文化、歴史など）を意識し博物館や植物園などにも行ってみて下さい。	

【使用教科書・教材 参考書】

改訂版新飼育ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ動物園編 1～5、動物園学入門（朝倉書店）

科目名	コンピュータ 演習Ⅲ	必修 選択	選択	年次	３年次	担当教員	高梨 優
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科(4年制)昼1	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	子供向け雑貨の商品企画、原価計算、在庫管理、オリジナル商品の企画、デザイン、制作、販売、印刷物関係などを行っておりました。						
授業の学習内容	デザインに特化したAdobeイラストレーターの基礎・応用テクニックを学ぶ。 イラストレーターを使用し、ポスター・紹介パネル・DMカード・入場券など掲示物や配布物の作成方法を学ぶ。 展示物の説明や配布物などの見やすいレイアウトを学ぶ。 博物館などで販売されているグッズなどの商品デザインを学ぶ。						
到達目標	デザイナーが使用するトンボやドブ、カットの仕方など専門的な基礎知識と応用テクニックを学び、イラストレーターを使用してポスター・紹介パネル・DMカード・入場券などの掲示物や配布物、商品デザインを作成することができる。 恐竜やレプタイルズの説明や展示の宣伝を文章だけでなく、イラストや写真を使いながら分かりやすく楽しく伝え、興味を惹く掲示物や配布物を作成することができる。 恐竜やレプタイルズをイラスト化し、グッズなどの商品にすることができる。						
評価方法と基準	各課題において【提出データ：45点満点】【提出作品：45点満点】【締め切り：10点満点】合計100点とし、学期中の課題点数の平均点を成績とします。 【提出データ】文字のアウトライン化・画像の埋め込み・トンボやドブの有無・データ不具合の有無 【提出作品】汚れなどがなく綺麗に制作できているか・寸法のズレなどがないか・デザイン上の不具合がないか 【締め切り】提出期日までにデータと制作作品が提出できたか						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	A/18	講義・演習	イラストレーターの基礎を復習	イラストレーターの基礎を復習
2	A/25	講義・演習	オリジナルキャラクターの作成テーマ・レイアウト決め	キャラクターのテーマを決める
3	M/9	講義・演習	ジナルキャラクターの作成キャラクターのラフ書き・設定	キャラクターの下書きを作成・設定の構想
4	M/16	講義・演習	オリジナルキャラクターの作成①データ作成	キャラクターをイラストで作成
5	M/30	講義・演習	オリジナルキャラクターの作成②データ作成	キャラクターをイラストで作成
6	J/6	講義・演習	オリジナルキャラクターの作成③データ作成	キャラクターをイラストで作成
7	J/13	講義・演習	オリジナルキャラクターの作成④データ作成	キャラクターを完成に近づける□
8	J/20	講義・演習	ジナルキャラクターの設定パネル作成レイアウト・文字	商品化を意識してレイアウトの構想を固める
9	J/27	講義・演習	オリジナルキャラクターの設定パネル作成素材作成	デザインの作成
10	J/4	講義・演習・提出	オリジナルキャラクターの設定パネル作成印刷・カット	デザインを完成に近づける
11	J/11	講義・演習	オリジナルキャラクターのステッカー作成レイアウト	商品化を意識してレイアウトの構想を固める
12	J/18	講義・演習・提出	オリジナルキャラクターのステッカー作成印刷・カット	デザインを完成に近づける
13	A/29	講義・演習	マグカップ作成①フォーマットにレイアウト	デザインの作成
14	S/5	講義・演習	マグカップ作成②フォーマットにレイアウト	デザインの作成
15	S/12	講義・演習・提出	マグカップ作成入稿	デザインを完成に近づける
準備学習　時間外学習			授業時間では足りないアイディア出しやビジュアル作成などを主に学習課題とします。	

【使用教科書・教材・参考書】

特に無し

科目名	海獣類飼育管理Ⅰ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	佐藤　充
学科・コース	エコ・イノベーション科(4年制)昼1	授業形態	講義	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	北里大学水産学部卒業 （株)淡島マリンパーク元館長　Wonder Labo代表						
授業の学習内容	水族館で飼育されている海洋哺乳類を中心に、生態など必要となる基礎知識を学習する ＊水族館・動物園の見学も含む						
到達目標	海洋哺乳類の幅広い知識を習得し答えることが出来る 人前でプレゼンテーションができる						
評価方法と基準	小試験20% 定期試験80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	授業内容を説明し、当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解することができる。	オリエンテーションで個人目標の策定
2	講義	動物の福祉を理解することが出来る	今の時代の動物の取り扱い方を説明できる
3	講義	動物のエンリッチメントを理解することが出来る	今の時代の動物の取り扱い方を説明できる
4	講義	動物の福祉とエンリッチメント復習	福祉とエンリッチメントを自分なりに考え具体的に説明するプレゼンテーション
5	講義	海獣類の展示方法を理解する①	なぜその展示方法か説明できる
6	講義	動物の展示方法①	鹿児島水族館を例として見せ方を考える
7	演習	展示方法復習	展示の在り方をプレゼンテーション
8	講義	海獣類の展示方法を理解する②	なぜその展示方法か説明できる
9	講義	海獣類の餌を理解する	栄養管理について説明できる
10	講義	トレーニングの必要性を理解する	なぜ大型動物にトレーニングが必要かを説明できる
11	見学	行船公園見学	オタリアの飼育を見学
12	講義・演習	飼育施設を理解する	飼育動物別の施設の作りを説明できる
13	講義	試験前復習	前期授業の復習
14	講義・試験	試験	
15	講義	テスト結果から振り返りを行うことで飼育管理の理解を深める	試験範囲からの復習
準備学習　時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】

※日程は社会情勢により変更になる可能性があります。

※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	海棲哺乳類Ⅰ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	佐藤　充
学科・コース	動水テク　2年	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	北里大学水産学部卒業　(株)淡島マリンパーク元館長　Wonder Labo代表						
授業の学習内容	水族館で飼育されている海洋哺乳類を中心に、生態など必要となる基礎知識を学習する ＊水族館・動物園の見学も含む						
到達目標	海洋哺乳類の幅広い知識を習得し答えることが出来る 人前でプレゼンテーションができる						
評価方法と基準	小試験20% 定期試験80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	授業内容を説明し、当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解することができる。	オリエンテーションで個人目標の策定
2	講義	ネイチャーガイドを紹介。学校で学習する知識が水族館以外でも活かせる例を紹介	具体例を映像を使用して説明。
3	講義	海洋哺乳類概論①	鯨類・鰭脚類の基本的知識を説明できる
4	講義	海洋哺乳類概論②	鯨類・鰭脚類の基本的知識を説明できる
5	見学	行船公園見学	オタリアの飼育を見学
6	講義	野生の鰭脚類を紹介	実際の映像などを使用し、生態を理解できる
7	演習	日本と鯨類の関係	食文化含めどのような関係かを説明できる
8	講義	海洋哺乳類概論③	海牛類などの基本的知識を説明できる
9	講義	海洋哺乳類保護の実際	環境保護団体の活動について自分で考え答えを出せる
10	講義	死んだ鯨類の行方	鯨骨生物群集の役割を説明できる
11	講義	鯨類の生態①	
12	講義・演習	鰭脚類の生態①	
13	講義	鰭脚類の生態②	
14	講義・試験	海牛類の生態	
15	講義	テスト結果から振り返りを行うことで飼育管理の理解を深める	試験範囲からの復習
準備学習　時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】

※日程は社会情勢により変更になる可能性があります。

※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	生涯学習概論Ⅰ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	近藤愛子
学科・コース	エコ・イノベーション科(4年制)昼1	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	群馬県立女子大学大学院修了、群馬県立自然史博物館展示解説員、美術家、デザイナー、施設アートディレクター、大学非常勤講師						
授業の学習内容	生涯を通じて学習を行うタイミングがあります。 生活の向上、職業上の能力の向上、自己の実現を目指すことを基本とする生涯学習の在り方を学び、各人が自発的な学習の意思を持つことを目指します。 また講師個人の経験の伝達を通して、多様な学習への道をイメージしてください。 授業は座学が中心ですが、生涯学習の支援を目指す演習も多種行います。						
到達目標	博物館施設との関わりを目指すにあたり、生涯学習の基礎知識の必要性を知る。 自発的な学習意欲を持つ。 他者の学習を支援するスキルを身につける。 他者の学習を支援する環境を想像・創造する。						
評価方法と基準	定期テスト60% 出席数40% 試験評価：GPA（A100～90　B89～80　C79～70　D69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題を提示し、提出をもってDの評価とする。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義	社会教育施設①	博物館概論の授業の博物館に関する学習も復習しておく
2	10月12日	講義	社会教育施設②	博物館概論の授業の博物館に関する学習も復習しておく
3	10月19日	講義	.生涯学習とNPO	
4	10月26日	講義	生涯学習とまちづくり	
5	11月2日	講義	生涯学習支援ネットワーク	
6	11月9日	講義	生涯学習と就転職	
7	11月16日	講義	社会教育事業の設計と手順	
8	11月30日	講義・演習	博物館ワークショップ開発①	社会教育施設として博物館を捉え、調査をしておく
9	12月7日	講義・演習	博物館ワークショップ開発②	社会教育施設として博物館を捉え、調査をしておく
10	12月14日	講義・演習	博物館ワークショップ開発③	社会教育施設として博物館を捉え、調査をしておく
11	12月21日	講義・演習	講師とコラボレーションしたミュージアムショップグッズ開発①	備考:群馬県立自然史博物館ミュージアムショップでの販売を予定している
12	1月11日	講義・演習	講師とコラボレーションしたミュージアムショップグッズ開発②	備考:群馬県立自然史博物館ミュージアムショップでの販売を予定している
13	1月18日	講義・演習	講師とコラボレーションしたミュージアムショップグッズ開発③	備考:群馬県立自然史博物館ミュージアムショップでの販売を予定している
14	1月25日	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	
15	2月1日	講義	テスト結果からの振り返り	
準備学習　時間外学習			身近な生涯学習、生涯学習環境等に興味を持つこと。	

【使用教科書・教材・参考書】

生涯学習概論/よくわかる生涯学習　※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	生涯学習概論Ⅰ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	近藤愛子
学科・コース	エコ・イノベーション科(4年制)昼1	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	群馬県立女子大学大学院修了、群馬県立自然史博物館展示解説員、美術家、デザイナー、施設アートディレクター、大学非常勤講師						
授業の学習内容	生涯を通じて学習を行うタイミングがあります。 生活の向上、職業上の能力の向上、自己の実現を目指すことを基本とする生涯学習の在り方を学び、各人が自発的な学習の意思を持つことを目指します。 また講師個人の経験の伝達を通して、多様な学習への道をイメージしてください。 授業は座学が中心ですが、生涯学習の支援を目指す演習も多種行います。						
到達目標	博物館施設との関わりを目指すにあたり、生涯学習の基礎知識の必要性を知る。 自発的な学習意欲を持つ。 他者の学習を支援するスキルを身につける。 他者の学習を支援する環境を想像・創造する。						
評価方法と基準	定期テスト60% 出席数40% 試験評価：GPA（A100～90　B89～80　C79～70　D69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題を提示し、提出をもってDの評価とする。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義	オリエンテーション/講師と各学生が行ってきた学習について	
2	4月27日	講義	生涯学習の定義、意義、理念	
3	5月11日	講義	生涯学習と家庭教育①	
4	5月18日	講義	生涯学習と家庭教育②	
5	5月25日	講義	生涯学習と学校教育①	
6	6月1日	講義	生涯学習と学校教育②	
7	6月15日	講義	生涯学習と社会教育①	
8	6月22日	講義	生涯学習と社会教育②	
9	6月29日	講義・演習	子ども向けワークショップ開発①	子どもに関する施設を調査しておく
10	7月6日	講義・演習	子ども向けワークショップ開発②	身近な素材に気づく視点を持つ
11	7月13日	講義・演習	子ども向けワークショップ開発③	対象(子ども)の視点を時間外でもイメージしておく
12	7月20日	講義	社会教育関係の指導者	博物館概論の授業の学芸員に関する学習も復習しておく
13	8月31日	講義	生涯学習に関わる人的支援	
14	9月7日	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	
15	9月14日	講義	テスト結果からの振り返り	
準備学習　時間外学習			身近な生涯学習、生涯学習環境等に興味を持つこと。	

【使用教科書・教材・参考書】

生涯学習概論/よくわかる生涯学習　※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	博物館概論Ⅰ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	近藤愛子
学科・コース	エコ・イノベーション科(4年制)昼1	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	群馬県立女子大学大学院修了、群馬県立自然史博物館展示解説員、美術家、デザイナー、施設アートディレクター、大学非常勤講師						
授業の学習内容	博物館の定義と目的、博物館の基本機能や学芸員の役割などを学び、博物館施設へ関わる者としての基礎づくりをします。 またいずれ学芸員や展示解説員などを目指していく人は、各分野の必要な専門的知識・技術を身につけるための入り口と捉えて、積極的に学習をしてください。 授業は座学が中心ですが、博物館での活動を具体的にイメージする演習も行います。						
到達目標	博物館学の基礎知識を身につける。 学芸員や展示解説員などの基礎知識を身につける。 自然史系の博物館に限らず、博物館施設へ幅広く興味を持つ。 博物館に関わる職種や活動を知り、自分の道と照らし合わせる。						
評価方法と基準	定期テスト60% 出席数40% 試験評価：GPA（A100～90　B89～80　C79～70　D69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題を提示し、提出をもってDの評価とする。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義	ヨーロッパとアメリカにおける博物館の歴史①	
2	10月12日	講義	ヨーロッパとアメリカにおける博物館の歴史②	
3	10月19日	講義	アジア・アフリカにおける博物館の歴史	
4	10月26日	講義	日本における博物館の歴史①	
5	11月2日	講義	日本における博物館の歴史②	
6	11月9日	講義・演習	各人が興味を持つ日本の博物館の歴史について調査・発表	各人が興味を持つ日本の博物館の歴史について調査し、調査資料を持参する
7	11月16日	講義	国家体制や宗教観と博物館	
8	11月30日	講義	ICOM(国際博物館会議)	
9	12月7日	講義	博物館資料と文化財	
10	12月14日	講義	IPMと博物館	博物館、又はTCAの害虫対策を調査する
11	12月21日	講義・演習	国・地方自治体の博物館行政	
12	1月11日	講義	博物館と様々な連携	
13	1月18日	講義・演習	対象をイメージした博物館の広報物をデザインする	各人が興味を持つ日本の博物館の展示(1点)の写真資料を持参する□
14	1月25日	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	
15	2月1日	講義	テスト結果からの振り返り	
準備学習　時間外学習			博物館について興味関心を持ち、情報を得ること。□	

【使用教科書・教材・参考書】

新時代の博物館学/博物館概論　※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	博物館概論Ⅰ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	近藤愛子
学科・コース	エコ・イノベーション科(4年制)昼1	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	群馬県立女子大学大学院修了、群馬県立自然史博物館展示解説員、美術家、デザイナー、施設アートディレクター、大学非常勤講師						
授業の学習内容	博物館の定義と目的、博物館の基本機能や学芸員の役割などを学び、博物館施設へ関わる者としての基礎づくりをします。 またいずれ学芸員や展示解説員などを目指していく人は、各分野の必要な専門的知識・技術を身につけるための入り口と捉えて、積極的に学習をしてください。 授業は座学が中心ですが、博物館での活動を具体的にイメージする演習も行います。						
到達目標	博物館学の基礎知識を身につける。 学芸員や展示解説員などの基礎知識を身につける。 自然史系の博物館に限らず、博物館施設へ幅広く興味を持つ。 博物館に関わる職種や活動を知り、自分の道と照らし合わせる。						
評価方法と基準	定期テスト60% 出席数40% 試験評価：GPA（A100～90　B89～80　C79～70　D69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題を提示し、提出をもってDの評価とする。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義	オリエンテーション/講師紹介、講師の展示解説員としての経験について	
2	4月27日	講義	博物館学とは	
3	5月11日	講義	博物館の種類と現状	
4	5月18日	講義	学芸員の役割と活動	
5	5月25日	講義	学芸員と組織	博物館に関係する職種を調べておく
6	6月1日	講義・演習	各人が興味を持つ博物館職員について調査・発表□	各人が興味を持つ博物館職員について、できる限り調査しておく□
7	6月15日	講義	博物館展示の基本	
8	6月22日	講義	博物館の展示手法	
9	6月29日	講義	博物館展示と情報	
10	7月6日	講義	博物館展示と解説	
11	7月13日	講義	博物館教育の可能性	
12	7月20日	講義・演習	博物館の解説を実践する①	TCAの展示資料内で解説したいものを探しておく
13	8月31日	講義・演習	博物館の解説を実践する②	TCAの展示資料内で解説したいものを探しておく
14	9月7日	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	
15	9月14日	講義	テスト結果からの振り返り	
準備学習　時間外学習			博物館について興味関心を持ち、情報を得ること。□	

【使用教科書・教材・参考書】

新時代の博物館学/博物館概論　※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	水生生物Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤　充
学科・コース	エコ・イノベーション科(4年制)昼1	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	北里大学水産学部卒業 （株)淡島マリンパーク元館長 Wonder Labo代表						
授業の学習内容	水族館で必要な水生生物の知識（魚類の検索方法、生態、飼育方法）を学習します。 水生生物の授業にはペンギンも含まれます ※実際に生き物を使用する授業のため、内容に変更がある場合があります。						
到達目標	水生生物の幅広い知識を習得し答えることが出来る。 ペンギンの幅広い知識を習得し答えることが出来る。人前でプレゼンテーションを行うことが出来る。						
評価方法と基準	小試験20% 定期試験80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	授業内容を説明し、当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解することができる。	オリエンテーションで個人目標の策定
2	講義	生物の進化①	生物の進化が説明できる
3	講義	生物の進化②	生物の進化が説明できる
4	見学	水族館見学	葛西臨海水族園
5			
6	演習	水族館見学復習	見学で気づいた点のプレゼンテーション
7	講義	葛西臨海水族園解説	葛西臨海水族園の見せ方を説明できる
8	講義	磯の基礎知識	磯の役割が説明できる
9	演習	磯採集＋磯解説	実際の磯の生物を採集、観察をする
10			
11			
12	演習	採集生物の種同定	採集生物の種を特定できる
13	講義	磯で採集した生物の解説	磯の生物の生態が説明できる
14	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	講義	テスト結果から振り返りを行うことで飼育管理の理解を深める	試験範囲からの復習
準備学習　時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】

※日程は変更になる可能性あり。

※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	水生生物Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤　充
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科(4年制)昼1	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	北里大学水産学部卒業 （株)淡島マリンパーク元館長 Wonder Labo代表						
授業の学習内容	水族館で必要な水生生物の知識（魚類の検索方法、生態、飼育方法）を学習します。水生生物の授業にはペンギンも含まれます ※実際に生き物を使用する授業のため、内容に変更がある場合があります。						
到達目標	水生生物の幅広い知識を習得し答えることが出来る。 ペンギンの幅広い知識を習得し答えることが出来る。 人前でプレゼンテーションを行うことが出来る。						
評価方法と基準	小試験20% 定期試験80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	魚類検索方法を学ぶ	魚類の種を特定できる
2	講義	ペンギンの基礎知識①	ペンギンの生態などを説明できる
3	見学	水族館見学	スマートアクアリウム
4			
5	演習	水族館見学復習	スマートアクアリウムの工夫を説明できる
6	講義	ペンギンの基礎知識②	ペンギンの展示方法を説明できる
7	演習	左近川採集	
8			
9	演習	採集生物同定	淡水魚類の種を特定できる
10	講義	サンゴの話（刺胞動物）	サンゴの役割を説明できる
11	演習	行船公園見学	実際の水生生物を見学する
12	講義	ペンギンの展示を考える	ペンギンの展示方法を考え説明できる
13	講義	テスト前対策	後期復習
14	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	講義	テスト結果から振り返りを行うことで飼育管理の理解を深める	試験範囲からの復習
準備学習　時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】

※日程は変更になる可能性あり。

※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	水族館研究Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤充
学科・コース	エコ・イノベーション科(4年制)昼1	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	北里大学水産学部卒業 （株)淡島マリンパーク元館長 Wonder Labo代表						
授業の学習内容	水族館の飼育者を目指す為には飼育の基本となる「新飼育ハンドブック」の内容を把握する必要があるので、これを中心に授業を行います。飼育ハンドブックの内容は読んだだけでは解りにくいため、深く理解できるよう映像など含め授業を進めていきます。 授業は座学が中心ですが、実際に濾過槽などの機材を使用したり、水族館の見学を行ったりしてハンドブックの内容を体験も含め学習します。						
到達目標	魚類飼育全般の基礎知識を理解することが出来る。 海獣飼育全般の基礎知識を理解することが出来る。						
評価方法と基準	小試験20%　定期試験80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	授業内容の進め方説明とアンケート	一年間の流れや、生徒の疑問質問に答える
2	講義	水族館概論　現在の動物園・水族館の役割がどのように変わってきているのか理解できる。	新飼育ハンドブック3　P1～P32の熟読と理解
3	講義	餌料　餌料の大切さと工夫を理解できる。	新飼育ハンドブック1　P61～P90の熟読と理解
4	講義	繁殖　魚類だけでなく海獣の人工繁殖など水族館で取り組んでいる活動を理解できる。	新飼育ハンドブック1　P1～P60の熟読と理解
5	講義	危機管理	新飼育ハンドブック5　P1～P83、の熟読と理解
6	講義	トレーニング	新飼育ハンドブック5　P113～P139136の熟読と理解
7	講義	展示1　水族館における展示の意味と効果について理解できる。	新飼育ハンドブック4　P1～P90の熟読と理解
8	見学	水族館の見学を通し、展示にどのような工夫がされていて、どのような効果があるのか説明できる	見学を持って充当する
9	見学		
10	演習	展示2　見学を通し明確になった展示の目的の再確認と、その他の展示の意味を説明できる。	プレゼンテーション
11	講義	ダイビング実習	
12	講義	教育　動物園・水族館の教育活動について具体的活動を元に説明・理解できる。	新飼育ハンドブック4　P91～P150の熟読と理解
13	講義	前期まとめ　前期の授業を再確認し、不明な点、疑問点を洗い出し、より深い理解ができる。	
14	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	講義	テスト結果の振り返りを行うことで、動物園水族館の役割をより深く理解する	前期に取り扱った新飼育ハンドブック全般
準備学習　時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】

新飼育ハンドブック　※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	生物復元テクニックⅢ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	西山
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科(4年制)昼1	授業形態	演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	広告代理店退社後フリーランス イラストレーター デザイン						
授業の学習内容	イラストレーションの楽しさを学ぶ 一般誌におけるカットの書き方 また、様々な手法を学ぶ。 画材の使用方法を オリジナルの表現方法の発見 偶然性の面白さの模索						
到達目標	複製や型取りの理解度と研究 商業施設・働く場においてのイラストレーションの活用 イラストレーションの楽しさを学ぶ 実際のケースを想定してたトレーニングを行い現場で活用できる技術の習得						
評価方法と基準	提出物						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	自己紹介とイラストレーション/次回アイディア	
2		演習	カップヌードルの味とデザイン・キャラクターとは？	キャラクターデザインのモチーフになるデザインの情報収拾
3		演習	カップヌードルの味とデザイン・キャラクターとは？ キャラクターの色数のレクチャー	２色のみ使用したイラストレーションの模索
4		演習	カプセルトイとコンセプト	がちゃぽんのカプセル（自宅にあれば持参）
5		演習	カプセルトイとコンセプト サイズとデザインの模索	キャラクターデザインのモチーフになるデザインの情報収拾
6		演習	図面を起こす。（３面図） カラーの考案	キャラクターデザインのモチーフになるデザインの情報収拾
7		演習	プラスチック系の粘土（グレースカルピー）	ボールオペン・鉛筆によるクロッキー・できれば街であるく人物画
8		演習	アクリル絵の具にて着彩 ヒートガンを使用し、立体を固める	
9		演習	プラスチック系の粘土（グレースカルピー）02・アクリルで着彩	
10		演習	講評 次回アイディア 複製のレクチャー	
11		演習	複製のレクチャー・材料の説明	
12		演習	キャラクターの複製　（シリコンでの型取り）	キャラクターデザインのモチーフになるデザインの情報収拾
13		演習	キャラクターの複製　（シリコンでの型取り） ブロックに埋める　シリコンを流す	
14		演習	キャラクターの複製　（シリコンでの型取り） ブロックに埋める　シリコンを流す	
15		演習	講評	
準備学習　時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促します。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	グルーミング演習ＡⅠ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	廣瀬
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制） 昼間部一	授業形態	演習	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	TCAペットトリマー科卒、TCAトリマーアシスタント、ドッグサロンティアラ、goodyone、nunoclub勤務						
授業の学習内容	″グルーミングは、ワンちゃんが健康的な生活を過ごす為に必要不可欠な授業です。 この授業は、グルーミングする上での基礎知識･用語が理解できるように講義と演習を行います。犬種に合わせたグルーミング方法･犬に合わせたコントロールを実習で学び、多くのペット業界で役立つグルーミング知識と技術を習得します。 ワンちゃん、オーナー様の為になるよう正しいやり方を学ぶ努力をし、学習してください。″						
到達目標	1)グルーミングがしやすいように犬をコントロールすることができる 2)グルーミングツールを正しく扱える						
評価方法と基準	1. 定期試験:100%(筆記試験を実施) 今まで学んだグルーミングについての筆記試験を行う。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4/19･4/26	講義	グルーミングの注意点を学び 、 安全に演習を行えるようになる	その日に学んだことを配布されたプリントを 参考に復習する
2	4/19･4/26	講義実習	グルーミング時の犬への接し方について学び、犬の気持ちを考えられるようになる	その日に学んだことを配布されたプリントを 参考に復習する
3	5/10･5/17	講義	グルーミングツールについて学び、 種類を覚えることができる	その日に学んだことを配布されたプリントを 参考に復習する
4	5/10･5/17	講義	皮膚、被毛、シャンプーについて学び、今後のグルーミングにいかすことができる	その日に学んだことを配布されたプリントを 参考に復習する
5	5/31･6/7	講義実習	小型犬で講義実習を行い、 グルーミングの流れを記すことができる	その日に学んだことを配布されたプリントを 参考に復習する
6	5/31･6/7	講義	リーシュの結び方・綿棒の作り方を学び、 1人で行うことができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
7	6/14･6/21	演習	小型犬を3～4人でグルーミングをし、 メディカルチェックすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
8	6/14･6/21	演習	小型犬を3～4人でグルーミングをし、 グルーミングの流れを理解できる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
9	6/28･7/5	演習	犬のコントロール方法を学び、 コントロールすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
10	6/28･7/5	演習	ツールの持ち方･動かし方を学び、 使い分けすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
11	7/12･7/19	演習	ベイジングのポイントを学び、 ベイジングすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
12	7/12･7/19	演習	ドライングのポイントを学び、 ドライングすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
13	8/30･9/13	演習	自己分析をし、自己評価ができる	試験に向けて学んできたことを復習する
14	9月6日	試験	筆記試験	試験を受け、出来なかった点を復習する
15	8/30･9/13	振り返り	前回の演習で見えた弱点にポイントをおき、 弱点を克服できる	解答と説明を再度、復習する
準備学習　時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】 グルーミングツール･筆記用具

科目名	コミュニケーションスキルアップⅠ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岡田美紀子
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制） 昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	キャリアコンサルタント ジョブカードアドバイザー 産業カウンセラー TCA講師 慈慶学園他校講師						
授業の学習内容	近年社会人として専門スキルに加えコミュニケーション能力が大変重視される時代です．仕事だけでなく円滑な学生生活や社会生活にも必要なスキルを学びます．本当に役立つコミュニケーションとは自分自身と相手を理解しつつ，思いやりの心を持ってしっかり自己主張もできることです．仕事での協調作業では議論やコンセンサス，プレゼンテーションといったスキルも必要となります．授業の中で様々なスキルを体験的に学ぶことで個々の自信に繋げ，自主性の強化や就活への意識向上を目的とした授業です．話し方は勿論，文章による表現力の強化も行います．又後期は就活・就職のためにCSU検定の合格に向けた対策授業を実施します．＊状況により順番や内容が変わることもあります．						
到達目標	みんなが安心して居られる場，自由に意見を言い合える場としての環境作りを学ぶ 自己理解を深め自分の長所を知る事で自分に自信を持ち，自己PRが上手にできる 自分や相手の思考・言動の傾向を知り，上手な意見交換や協調作業ができる 回答や選択をする際，その理由を一緒に考えることを習慣づけ，それを表現したり自己主張や提案ができる コンセンサスやプレゼンテーション等様々なスキルを段階的かつ体験的に学ぶことで実践で使えるスキルに定着させるCSU検定合格（後期）						
評価方法と基準	定期試験50％ 出席率30％ 提出物・授業態度20％ 評価：GPA（S100～90 A89～80 B79～70 C69～60 F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 60点以上の合格点をもってCの評価とする。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義＆グループワーク	「CSUとは」 ：授業方法と目的を知る 「キャッチフレーズリレー」：初対面に強くなる	事前学習：テキスト第3章1－1・2購読／事後学習：新生活でスキルを実践し定着を図
2	4月21日	個人＆グループワーク	スキルチェック／「私達のお店屋さん」：自分の現在のコミュニケーション力を知る	事後学習：授業振り返りノートの作成．グループワークの共同作業の手法を実戦によ
3	4月28日	個人ワーク＆講義	文章表現：「私がこの道を選んだ理由」 「流れ星」：情報伝達の方法と意味を知る	事後学習：授業振り返りノートの作成．
4	5月12日	グループワーク＆講義	「108便」：コンセンサスのスキルを学び，基本的プレゼンテーションができるようになる	事前学習：テキスト第3章Ⅱ－3・4・5・6購読
5	5月19日	グループワーク＆講義	「すごろくトーク」：様々なテーマに対して自分の意見を持ち上手に表現できる	事前学習：テキスト第2章Ⅰ－1・2・3・4・5／第3章Ⅱ－1・2購読
6	5月26日	グループワーク＆講義	「謎の宝島」1＆2：話し合いとコンセンサスがレベルアップできる	事前学習：テキスト第2章Ⅱ－1・2購読
7	6月2日	グループワーク＆講義	「私のイメージ」：別の視点で自分見ることで知らなかった自分をの性格を発見できる	事前学習：テキスト第2章Ⅰ購読／ノンバーバルコミュニケーションとは？
8	6月16日	個人ワーク	「EPPS」性格検査	事後学習：検査の完成
9	6月23日	グループワーク＆講義	「バンドメンバーオーディション」：話し合いとコンセンサスのレベルアップができる	事後学習：振り返りノート作成
10	6月30日	グループワーク	「EPPS」採点：マニュアルの読み効率の良い作業方法を知ることができる	事後学習：検査の採点完成．振り返りノート作成
11	7月7日	講義＆個人ワーク	「EPPS]自己分析：自分の性格をより深く知る事ができる	事後学習：自己分析の完成．振り返りノート作成
12	7月14日	グループワーク＆講義	「ストローク」：温かい言葉のやり取りで自分に自信が持てる	事前学習：テキスト第3章Ⅰ－3購読 事後学習：授業振り返りノートの作成．
13	9月1日	講義＆個人ワーク	文章表現：「私の夏休み」文章表現の基本を学び，分かり易い文章表現ができるようになる	事前学習：作文のテーマ探し～夏休み振返り 事後学習：文章を完成させる．
14	9月8日	記述試験	前期試験	事前学習：記述試験の準備として前期半年間の教材やテキストの復習
15	9月15日	講義＆個人ワーク	振り返り	事後学習：後期授業の準備
準備学習 時間外学習			事前学習で授業の理解力を深め，事後学習と学習実践を通してスキルの定着をはかる．	

【使用教科書・教材・参考書】

テキスト：「コミュニケーションスキルアップ検定」／ワークは必要に応じてプリント使用．（ワークシート保存用ファイルを準備）

科目名	コンピューター演習Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	(株)ブレーンスタッフコンサルタンツ
学科・コース	エコ・イノベーション科(4年制)　昼間部一	授業形態	演習	総時間(単位)	30 1		
教員の略歴	滋慶学園グループの一企業である(株)ブレーンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについて特化した講義を実施						
授業の学習内容	・コンピュータネットワーク環境の適切な利用をとおして各自の専門分野において有益な情報を得る ・PC操作をとおして、効果的、効率的にデータ作成をおこなう						
到達目標	・コンピュータネットワーク環境をITリテラシーの観点に基づき適切に利用できる ・複合文章の作成(Word)、表計算や表、グラフの作成(Excel)ができる						
評価方法と基準	定期試験では、パソコンを使用した実技試験をおこない、授業で学んだPC操作の定着度を確認する 評価は通常点(40点)と期末テスト(60点)の合計100点満点でおこない、学則規定に準ずる						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4/18	演習	講座を受講する意義を理解し、PCの基本操作ができる	インターネット上の イーラーニングテキストで 操作手順を確認し、 練習を繰り返し操作を定着させる
2	4/25	演習	新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく上手に活用できる	
3	5/9	演習	受け取り手に好印象を与えるメールのマナーを知り、メール機能を使いこなすことができる	
4	5/16	演習	個人所有PCで講義を実施するための設定ができる Officeソフト共通の基本操作ができる	
5	5/30	演習	文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる	
6	6/6	演習	画像や図形を駆使した文書を作成できる	
7	6/13	演習	表を駆使した文書を作ることができる	
8	6/20	演習	インターンシップの報告書を作成する準備ができる	
9	6/27	演習	表計算ソフトの基本操作ができる 後期発表資料のシナリオを作ることができる	
10	7/4	演習	企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる	
11	7/11	演習	関数を駆使した資料を作成できる	
12	7/18	演習	グラフを駆使した資料を作成できる	
13	8/29	演習	Excel基礎で習ったことを実践できる	
14	9/5	演習	Excel試験問題の実施	
15	9/12	演習	前期の振り返り	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶学園グループの学生にとって必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用

科目名	コンピューター演習Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	(株)ブレーンスタッフコンサルタンツ
学科・コース	エコ・イノベーション科(4年制)　昼間部一	授業形態	演習	総時間(単位)	30 1		
教員の略歴	滋慶学園グループの一企業である(株)ブレーンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについて特化した講義を実施						
授業の学習内容	・コンピュータネットワーク環境の適切な利用をとおして各自の専門分野において有益な情報を得る ・PC操作をとおして、効果的、効率的にデータ作成をおこなう						
到達目標	・コンピュータネットワーク環境をITリテラシーの観点に基づき適切に利用できる ・PowerPointを使用して訴求力のあるスライド作成ができる						
評価方法と基準	定期試験では、パソコンを使用した実技試験をおこない、授業で学んだPC操作の定着度を確認する 評価は通常点(40点)と期末テスト(60点)の合計100点満点でおこない、学則規定に準ずる						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10/3	演習	必要な情報をインターネットで検索したり、ファイル・フォルダの仕組みを理解して操作したりすることができる	インターネット上の イーラーニングテキストで 操作手順を確認し、 練習を繰り返し操作を定着させる
2	10/10	演習	AI(人工知能)に関する正しい情報や知識を身に着け、適正かつ有効に活用できる	
3	10/17	演習	AI機械学習について実践を通してより深めることができる	
4	10/24	演習	スライド作成の基本的な操作ができる	
5	10/31	演習	PowerPointを使用し、紙芝居を作成することができる	
6	11/7	演習	何を伝えるかを簡潔に示したスライド作成の設計ができる	
7	11/14	演習	レイアウト、配色等、デザインに考慮した図解を作成できる	
8	11/21	演習	表の活用・図表の効果的な表現をすることができる	
9	11/28	演習	フォントや配色などを工夫して見やすいスライドに編集できる	
10	12/5	演習	作成したスライドを使って発表できる(1)	
11	12/12	演習	作成したスライドを使って発表できる(2)	
12	1/9	演習	長文作成における必要な操作ができる	
13	1/16	演習	PowerPoint基礎で習ったことを実践できる	
14	1/23	演習	PowerPoint試験問題の実施	
15	1/30	演習	後期の振り返り	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶学園グループの学生にとって必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。

科目名	ドッグトレーニング演習ＡⅠ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	安齋裕己
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制） 昼間部一	授業形態	演習	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	1989年 Dog Training Club PURE GOLD 開業　元埼玉県警嘱託警察犬訓練士						
授業の学習内容	犬のトレーニングに必要な基礎知識を理解するための講義と、実際に犬を使った演習を行うことによりより深くトレーニングを理解する授業です。 自分自身がしっかりとトレーニングを理解する事により、犬が理解しやすいトレーニングを習得します。 ※ 実際に犬を使ったトレーニングを行う授業のため、内容に変更のある場合があります。						
到達目標	犬の本能を利用したトレーニング方法を使い、基本動作を犬に教えることが出来る。 後期及び、進級後に備えアマチュアにトレーニング方法を理解しやすく説明出来る様になる。						
評価方法と基準	・定期試験（筆記試験） 60% ・講義・演習中の態度及び、トレーニング成果 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	担当犬の理解（実際に犬と接することにより、性格を読み取り、犬具の装・脱着が出来る）	学校飼育犬及び、担当犬の管理
2		講義・演習	担当犬の理解（実際に犬と接することにより、性格を読み取り、犬具の装・脱着が出来る）	学校飼育犬及び、担当犬の管理
3		講義・演習	招呼（呼び戻し）を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
4		講義・演習	招呼（呼び戻し）を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
5		講義・演習	正しいポジションへの招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
6		講義・演習	正しいポジションへの招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
7		講義・演習	喜求的招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
8		講義・演習	喜求的招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
9		講義・演習	停座を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
10		講義・演習	停座を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
11		講義・演習	ハウスを教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
12		講義・演習	ハウスを教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
13		講義・演習	前期の復習	学校飼育犬及び、担当犬の管理
14		講義・試験	試験（筆記試験）	学校飼育犬及び、担当犬の管理
15		講義・演習	前期の復習	学校飼育犬及び、担当犬の管理
準備学習　時間外学習			学校飼育犬の飼育当番及び観察で充当	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	人と動物の関係学	必修選択	必修	年次	1	担当教員	本村伸子
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制） 昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	獣医師免許を持ち、ナチュラルケアのアドバイザーとして犬の病気予防に関するセミナーを開催している講師が実施						
授業の学習内容	・動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学ぶ ・人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題などを含めて理解する ・授業内において書籍を紹介し、出来るだけ書籍を通して様々な視点から動物について考える ・後期の授業である「生命倫理・福祉」とも関連しており、動物福祉を常に考えられる動物看護師になって欲しい						
到達目標	・人と動物の関係性について動物看護師としてその歴史的な背景、動物観を考えられるようになる ・日本と欧米との動物への考え方の違いを理解する ・動物がいかに人間の生活に入り込んでいるかを考えられるようになる						
評価方法と基準	筆記試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	授業の進め方／ヒューマン・アニマル・ボンドの概要	教科書等を読み返し授業のまとめをする
2		講義	欧米と日本の動物間の相違を理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
3		講義	様々な動物における家畜化を理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
4		講義	動物虐待と児童虐待との関わりを理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
5		講義	日本における動物に関わる問題を理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
6		講義	愛玩動物が子どもや高齢者に与える恩恵を理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
7		講義	動物が人に及ぼす影響を考えて理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
8		講義	動物介在介入の目的と内容について理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
9		講義	動物介在介入に使用される動物の衛生面と適性について理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
10		講義	動物の問題行動について理解する	動物の問題行動についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
11		講義	カーミングシグナルについて理解する	カーミングシグナルについての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
12		講義	動物介在介入に対する動物病院の関わりについて理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
13		講義	学校飼育動物の目的や実態、愛玩動物看護師の関わりについて理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 試験勉強
14		試験	テスト	試験勉強
15		講義	振り返り	テストで分からなかった箇所の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第6巻愛護・適正飼養学

科目名	生命倫理・動物福祉	必修選択	必修	年次	1	担当教員	本村伸子
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制） 昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	獣医師免許を持ち、ナチュラルケアのアドバイザーとして犬の病気予防に関するセミナーを開催している講師が実施						
授業の学習内容	・生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉(アニマルウエルフェア)について学ぶ ・現在は伴侶動物の福祉はもちろんのこと、産業動物、実験動物、そして展示動物の福祉についてきちんとした知識と理解が求められている ・愛玩動物だけでなく生きるもの全ての命の重さを感じられる人間になって欲しい						
到達目標	・愛玩動物看護師として必要な職業倫理を理解し、身につけること。 ・その歴史的な背景、動物観を考えられるようになる。 ・「人と動物の関係学」とも関連している授業で、前期と後期を通して動物たちが抱えている様々な問題点を自分の言葉で語れるようになる						
評価方法と基準	筆記試験						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	授業の進め方／生命倫理の概要／獣医医療における倫理	教科書等を読み返し授業のまとめをする
2		講義	動物観と影響を与える様々な因子について	動物観についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
3		講義	どんな状況下において安楽死が必要かを考え、理解する／ペットロスについても考える	安楽死やペットロスについての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
4		講義	動物福祉の歴史的背景を考える	動物福祉についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
5		講義	5つの自由について理解し、説明できる	動物福祉についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
6		講義	動物愛護と動物の権利について理解し、説明できる	動物愛護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
7		講義	日本と世界の動物福祉の歴史と現状の問題点を考える	動物愛護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
8		講義	愛玩動物の福祉と適正飼養について理解して、説明できる	動物愛護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
9		講義	ペット産業が抱えている問題点を理解する	動物愛護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
10		講義	飼い主のいない犬と猫たちの真の幸せと健康について自分なりに考える	動物の保護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
11		講義	産業動物の福祉について考える	動物福祉についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
12		講義	実験動物の福祉について考える／3Rについて理解する	動物福祉についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
13		講義	展示動物の福祉について考える	動物福祉についての書籍を読む 試験勉強
14		試験	テスト	試験勉強
15		講義	振り返り	テストで分からなかった箇所の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第1巻基礎動物学

科目名	適正飼育指導論Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	羽場智子
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科（4年制） 昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	獣医師（動物病院勤務）						
授業の学習内容	愛玩動物看護師として必要な愛玩動物の知識を身に付けます 愛玩動物の適正飼養について学び、実践するための知識を身に付けます 動物管理行政について学びます 適正飼育を学び、動物飼育を実践します。						
到達目標	1. 愛玩動物について知り、愛玩動物飼育の恩恵・問題点・ペットロスについて知ることができる 2. 愛玩動物の適正飼養について学び、実践・指導することができる 3. 災害危機管理についてしその支援ができる 4. 動物愛護管理行政について学び、愛護センターの仕事内容や動物取扱業について知ることができる						
評価方法と基準	1. 定期試験：50%（状況によって60%まで変更もありえる） 2. 提出物及び確認テスト：30%（状況によって40%まで変更あり・提出物の内容により5点までの減点） 3. 出席率・授業中の態度＆参加意欲：20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	月　日	講義	オリエンテーション実施	愛玩動物看護師に向けて目標を設定する
2	月　日	講義	動物飼育についての基礎知識を知る	飼育マニュアルの熟読と理解
3	月　日	講義	飼育当番について内容を知り理解する	飼育マニュアルの熟読と理解
4	月　日	講義	人間と犬猫の関係について知る	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
5	月　日	講義	愛玩動物看護師法について知る 飼育動物の飼育をする①	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
6	月　日	講義	動物の愛護及び管理に関する法律について知る　飼育動物の飼育をする②	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
7	月　日	講義	マイクロチップのしくみ・装着の推進について知る　飼育動物の飼育をする③	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
8	月　日	講義	動物虐待について知る 飼育動物の飼育をする④	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
9	月　日	講義	ペットロスとその対応について知る 飼育動物の飼育をする⑤	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
10	月　日	講義	動物の適正飼育について知る① 飼育動物の飼育をする⑥	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
11	月　日	講義	動物の適正飼育について知る② 飼育動物の飼育をする⑦	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
12	月　日	講義	動物の適正飼育について知る③ 飼育動物の飼育をする⑧	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
13	月　日	講義	今までの総確認をすることができる 飼育動物の飼育をする⑨	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 前期試験に向けての勉強
14	月　日	試験	前期試験の実施（筆記） 飼育動物の飼育をする⑩	試験問題のやり直し
15	月　日	講義	振り返り 飼育動物の飼育をする⑪	誤答の再確認
準備学習　時間外学習			授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強	

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書第　巻・配布資料・ホワイトボード
動物が参加する実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする

科目名	動物感染症学Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	瀬戸口公代
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科（4年制）　昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	日本大学生物資源科学部獣医学科卒獣医師、動物病院勤務、往診専門病院開業、web記事執筆、オンライン相談等						
授業の学習内容	感染症を理解するために、微生物の種類や病原性、検査法まで詳しく学習します。 動物を取り巻く環境と寄生虫の相互関係について理解し予防や検査、治療について学び、愛玩動物看護師として正しい対応法を身につけましょう。						
到達目標	微生物や寄生虫の分類、伝播様式、発病のメカニズムを理解することができる。人獣共通感染症について学び、予防医療に役立てることができる。						
評価方法と基準	定期試験（第１４週目）６０点以上で合格とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	微生物の分類と特徴について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P196～199の熟読と理解
2	4月26日	講義	微生物検査の基礎について学び、様々な検査方法を理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P200～205の熟読と理解
3	5月10日	講義	微生物検査の方法、結果の判定などの写真、イラストなどについて正しく説明することができる。	
4	5月17日	講義	抗原検出法と抗体検出法の違いについて理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P206～208の熟読と理解
5	5月31日	講義	内部寄生虫と外部寄生虫の違い、それぞれの特徴を理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P209～211の熟読と理解
6	6月7日	講義	線虫類の特徴、感染様式、検査方法について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P212～217の熟読と理解
7	6月14日	講義		
8	6月21日	講義	犬糸状虫について生活環、症状、検査法、治療について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P217～219の熟読と理解
9	6月28日	講義	吸虫類、条虫類について生活環、症状、検査法、治療について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P219～226の熟読と理解
10	7月5日	講義		
11	7月12日	講義	臨床上重要な原虫類について、生活環、症状、検査法、治療について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P226～234の熟読と理解
12	7月19日	講義		
13	8月30日	講義	外部寄生虫の形態、感染について理解することができる。模擬問題で正解できる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P235～239の熟読と理解
14	9月6日	試験	前期テスト（筆記試験）６０点以上合格	模擬問題を使ったテスト対策
15	9月13日	講義	テスト振り返りでより一層の理解を深めることができる。	各自テスト問題の振り返り、復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】
愛玩動物看護師の教科書第３巻

科目名	動物形態機能学Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	河南圭子
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制） 昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	① 獣医師 ② 製薬会社 創薬研究所勤務（実験動物の安全性評価・毒性試験・病理検査担当）						
授業の学習内容	動物看護の基盤となる動物のからだのしくみと生理機能について学習する。動物の病気を早期に発見または理解するには正常な動物の状態を知ることが大切であり、病的変化について学ぶ基盤を確立する。						
到達目標	① 哺乳動物・鳥類を中心とした正常な細胞、組織、器官の構造および機能を理解し説明することができる。 ② 光学顕微鏡下ミクロレベルでの細胞機能、組織構造を理解し、説明することができる。 ③愛玩動物看護師国家資格の取得						
評価方法と基準	定期試験（第14週目）60点以上で合格とする。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	からだの成り立ちと基本構造、体腔、解剖用語について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
2	4月25日	講義・演習	各動物種の骨格の名称と機能について説明できる。骨の成長と関節の役割について述べることができる	配布プリントの作成・練習問題
3	5月9日	講義・演習	細胞の構造と機能、細胞膜、細胞小器官の役割について述べることができる。	配布プリントの作成・練習問題
4	5月16日	講義・演習	核酸の構造と遺伝情報の発現について理解し説明することができる	配布プリントの作成・練習問題
5	5月30日	講義・演習	動物の組織の種類と上皮組織、筋組織、結合組織について説明することができる。□	配布プリントの作成・練習問題
6	6月6日	講義・演習	結合組織に含まれる組織と骨組織、軟骨組織の構成組織を説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
7	6月13日	講義・演習	筋肉の種類と各特徴、筋収縮、エネルギー産生について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
8	6月20日	演習	中間試験（筆記試験）・解答解説・振り返り	これまで実施した演習問題の復習
9	6月27日	講義・演習	循環器を構成する臓器と心臓の構造、心音、心膜について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
10	7月4日	講義・演習	心臓の刺激伝導系と神経支配について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
11	7月11日	講義・演習	血管系の構造と種類、機能について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
12	7月18日	講義・演習	血液の役割と構成成分が説明でき、血球の種類、血漿成分・止血・血液凝固についても説明ができる	配布プリントの作成・練習問題
13	8月29日	講義・演習	血球の種類、赤血球の機能、白血球の種類・機能について理解し説明することができる	配布プリントの作成・練習問題
14	9月5日	前期試験	前期テスト（筆記試験）60点以上合格	中間試験・練習問題の復習
15	9月12日	振り返り	振り返り（筆記試験できなかった問題をできるようにする）	前期試験の振り返り
準備学習 時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第1巻 緑書房 犬と猫のからだのしくみ

科目名	動物形態機能学実習	必修選択	必修	年次	1	担当教員	宮川
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制） 昼間部一	授業形態	講義 実習	総時間 （単位）	30 1		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習内容	動物の身体の形態と機能を骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ						
到達目標	1）動物の解剖生理（名称や配置、機能など）を理解する 2）骨格模型や臓器模型からさらに理解を深める 3）顕微鏡の各部名称ならびに使用方法を理解し、実施する						
評価方法と基準	定期試験100%（14週目に筆記試験を実施） 筆記試験評価：A100～90 B89～80 C79～70 D69～60 F59～0 ＊本試験で「A」評価がいない場合のみ、出席率で加点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	基本的な細胞と組織を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2	4月24日	講義+実習	顕微鏡の使い方を理解する（細胞）	授業ノート、配布資料を見直す
3	5月8日	講義	心臓の解剖生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4	5月15日	講義	呼吸器の解剖生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5	5月22日	実習	心臓の解剖実習	授業ノート、配布資料を見直す
6	5月29日	実習	呼吸器の解剖実習	授業ノート、配布資料を見直す
7	6月5日	講義	消化器の解剖生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8	6月12日	講義	消化器の解剖生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9	6月19日	実習	消化器の解剖実習	授業ノート、配布資料を見直す
10	6月26日	講義	腎泌尿器の解剖生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11	7月3日	実習	腎泌尿器の解剖実習	授業ノート、配布資料を見直す
12	7月10日	講義+実習	血液塗抹実習	授業ノート、配布資料を見直す
13	8月28日	講義	1～12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14	9月4日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月11日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習			授業ノートや配布資料を整理・復習・新しい言葉を調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具

科目名	動物内科看護学Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	横山 昌美
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科（4年制）　昼間部一						
教員の略歴	愛玩動物看護師　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査の補助や看護に必要となる基礎知識を学び、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などについて学びます。この授業を踏まえて、『動物内科看護学実習』でさらに技術を身につけます。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどを理解する ②検体の扱い方を理解する ③内科診療の基礎知識、様々な検査方法を理解する						
評価方法と基準	1）定期試験　50% 2）出席率　25% 3）授業態度　25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義	動物看護師の役割、病院業務について知識を習得する	授業ノートの復習
2	4月21日	講義	動物の扱い方、保定方法について知識を習得する	授業ノートの復習
3	4月28日	講義	バイタルサインについて知識を習得する	授業ノートの復習
4	5月12日	講義	看護における観察ポイントについて知識を習得する	授業ノートの復習
5	5月19日	講義	環境管理、衛生管理について知識を習得する	授業ノートの復習
6	5月26日	講義	爪切り、耳掃除、肛門腺絞りについて知識を習得する	授業ノートの復習
7	6月2日	講義	食事について知識を習得する	授業ノートの復習
8	6月16日	講義	検査に使う医材について知識を習得する	授業ノートの復習
9	6月23日	講義	投薬について知識を習得する	授業ノートの復習
10	6月30日	講義	尿検査について知識を習得する	授業ノートの復習
11	7月7日	講義	便検査について知識を習得する	授業ノートの復習
12	7月14日	講義	血液検査について知識を習得する	授業ノートの復習
13	9月1日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	9月8日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月15日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	

【使用教科書・教材・参考書】　筆記用具・ノート・教科書第4巻

科目名	動物内科看護学Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	横山 昌美
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科（4年制）　昼間部一						
教員の略歴	愛玩動物看護師　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査の補助や看護に必要となる基礎知識を学び、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などについて学びます。この授業を踏まえて、『動物内科看護学実習』でさらに技術を身につけます。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどを理解する ②検体の扱い方を理解する ③内科診療の基礎知識、様々な検査方法を理解する						
評価方法と基準	1）定期試験　50% 2）出席率　25% 3）授業態度　25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	9月29日	講義	口腔内と歯科について知識を習得する	授業ノートの復習
2	10月6日	講義	X線検査について知識を習得する	授業ノートの復習
3	10月13日	講義	超音波検査について知識を習得する	授業ノートの復習
4	10月20日	講義	静脈留置について知識を習得する	授業ノートの復習
5	10月27日	講義	輸液について知識を習得する	授業ノートの復習
6	11月3日	講義	全身麻酔について知識を習得する	授業ノートの復習
7	11月10日	講義	画像検査（CT／MRI）について知識を習得する	授業ノートの復習
8	11月17日	講義	耳垢検査について知識を習得する	授業ノートの復習
9	11月24日	講義	皮膚の検査について知識を習得する	授業ノートの復習
10	12月1日	講義	看護記録について知識を習得する	授業ノートの復習
11	12月8日	講義	神経学的検査について知識を習得する	授業ノートの復習
12	12月15日	講義	心電図検査と血圧検査について知識を習得する	授業ノートの復習
13	1月12日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	1月19日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	2月2日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	

【使用教科書・教材・参考書】　筆記用具・ノート・教科書第4巻

科目名	動物内科看護学実習Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科（4年制）　昼間部一	授業形態	演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査や看護に必要となる手技、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などの技術を身につけ、『動物内科看護学』の知識の定着を図ります。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどの技術を習得し、動物の状態を把握するスキルを身につける ②検体の扱い方法を理解し、適切に扱う技術を習得する ③内科診療の基礎知識を身につけ、様々な検査等に必要な技術を習得する						
評価方法と基準	1）定期試験　50% 2）出席率　　25% 3）授業態度　25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義＋演習	問診技術を習得する	授業ノートの復習
2	4月21日	講義＋演習	保定の技術を習得する	授業ノートの復習
3	4月28日	講義＋演習	バイタルチェックの技術を習得する	授業ノートの復習
4	5月12日	講義＋演習	動物を観察する技術を習得する	授業ノートの復習
5	5月19日	講義＋演習	環境管理、衛生管理の技術を習得する	授業ノートの復習
6	5月26日	講義＋演習	爪切り、耳掃除、肛門腺絞りの技術を習得する	授業ノートの復習
7	6月2日	講義＋演習	食事の際の技術を習得する	授業ノートの復習
8	6月16日	講義＋演習	医材の扱い方法を習得する	授業ノートの復習
9	6月23日	講義＋演習	投薬の技術を習得する	授業ノートの復習
10	6月30日	講義＋演習	採尿方法と検体の扱い方を習得する	授業ノートの復習
11	7月7日	講義＋演習	採便方法と検体の扱い方を習得する	授業ノートの復習
12	7月14日	講義＋演習	採血方法と検体の扱い方を習得する	授業ノートの復習
13	9月1日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	9月8日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月15日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	
【使用教科書・教材・参考書】　筆記用具・ノート・教科書第4巻				

科目名	動物内科看護学実習Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科（4年制）　昼間部一	授業形態	演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査や看護に必要となる手技、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などの技術を身につけ、『動物内科看護学』の知識の定着を図ります。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどの技術を習得し、動物の状態を把握するスキルを身につける ②検体の扱い方法を理解し、適切に扱う技術を習得する ③内科診療の基礎知識を身につけ、様々な検査等に必要な技術を習得する						
評価方法と基準	1）定期試験　50% 2）出席率　　25% 3）授業態度　25%						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	9月29日	講義＋演習	口腔内のケアに必要な技術を習得する	授業ノートの復習
2	10月6日	講義＋演習	X線検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
3	10月13日	講義＋演習	超音波検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
4	10月20日	講義＋演習	静脈留置設置に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
5	10月27日	講義＋演習	点滴に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
6	11月3日	講義＋演習	全身麻酔に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
7	11月10日	講義＋演習	CT／MRI検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
8	11月17日	講義＋演習	耳垢検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
9	11月24日	講義＋演習	皮膚検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
10	12月1日	講義＋演習	看護記録に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
11	12月8日	講義＋演習	神経学的検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
12	12月15日	講義＋演習	心電図検査と血圧検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
13	1月12日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	1月19日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	2月2日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	

【使用教科書・教材・参考書】　筆記用具・ノート・教科書第4巻

TCA東京ECO動物海洋専門学校

科目名	動物繁殖学	必修選択	必修	年次	1	担当教員	宮川
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制）　昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習内容	繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する						
到達目標	1）生殖器の形態と機能について理解する 2）妊娠・分娩・帝王切開について理解し、援助できるようにする 3）新生児の管理ならびに先天性疾患について理解する 4）遺伝のメカニズムを理解する						
評価方法と基準	定期試験100%（14週目に筆記試験を実施） 筆記試験評価：A100～90　B89～80　C79～70　D69～60　F59～0 ＊本試験で「A」評価がいない場合のみ、出席率で加点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	雌雄の生殖器の基本構造を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2		講義	遺伝子について概要を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3		講義	性周期を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4		講義	膣スメアと交配適期を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5		講義	生殖器疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6		講義	生殖器疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7		講義	去勢・避妊手術について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8		講義	交尾・妊娠・分娩について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9		講義	妊娠鑑定について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10		講義	新生子の管理について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11		講義	栄養管理について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12		講義	ワクチン接種計画について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13		講義	1～12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14		講義	筆記試験	試験範囲の復習
15		講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートや配布資料を整理・復習・新しい言葉を調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具

科目名	動物理学療法Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	千葉
学科・コース	エコ・イノベーション科（4年制） 昼間部	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴							
授業の学習内容	基本的な動物理学療法の理解（骨格・筋肉を中心に学ぶ）						
到達目標	マッサージの技術を習得する。						
評価方法と基準	1）定期試験60%　2）小テスト20%　3）レポート・論文20% 1）定期テスト60%　2）出席数40% 1）定期テスト（筆記100% 実技20%）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4／20	講義	動物理学療法を理解する	授業の復習
2	4／27	講義	犬の体について	前回授業の復習＆レポートの確認
3	5／11	講義	犬種の違い	前回授業の復習＆レポートの確認
4	5／18	講義	行動学	前回授業の復習＆ワークシートの確認
5	5／25	講義	犬の感情	前回授業の復習＆ワークシートの確認
6	6/1	講義	Massageの理論	前回授業の復習＆レポートの確認
7	6/15	講義と実習	Massageの実技	前回授業の復習＆ワークシートの確認
8	6/22	講義と実習	Massageの手順	前回授業の復習＆ワークシートの確認
9	6/29	講義と実習	Massageの手順	前回授業の復習＆ワークシートの確認
10	7/6	講義と実習	ストレッチとは	前回授業の復習＆レポートの確認
11	7/13	講義	関節の構造と役割	前回授業の復習＆レポートの確認
12	7/20	講義	骨格筋の名称と役割を学ぶ　1	前回授業の復習＆レポートの確認
13	8/31	講義と実習	骨格筋の名称と役割を学ぶ　2	前回授業の復習＆レポートの確認
14	9/7	試験	前期試験	前期の復習
15	9/14	振り返り	試験返却＆前期振り返り	前期の総復習
準備学習　時間外学習			準備学習　時間外学習の方向性など	
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル版				